

平成25年度
区政モニターアンケート
調査報告書

港区の教育について

平成26年3月

港 区

港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和60年8月15日

港 区

《 は じ め に 》

港区では、区民の皆さんのニーズを的確に区政に反映していくために、
広聴事業の充実に努めています。

今年度の区政モニターアンケートでは、「港区の教育」について、区政
モニター及びアンケート協力員の皆さんのご意見をお伺いしました。

調査結果は、区政運営のための参考資料として活用させていただきます。

ご協力いただいた皆さんに心からお礼を申し上げます。

平成26年（2014年）3月

港区企画経営部区長室

目 次

1 調査概要	1
2 結果のあらまし	2
3 質問と集計結果	4
【フェイスシート】	4
【調査結果】	7
港区の教育について	7
(1) 希望する子どもの育ち方	7
(2) 子どもの教育で重要だと思うこと	10
(3) 子どもの体力向上に必要なと思うこと	13
(4) 区立の小・中学校に感じる魅力	15
(5) 区立の小・中学校教育の充実のために大切だと思うこと	18
(6) 地域の幼稚園や小・中学校に対しての協力意向	22
(7) 生涯学習活動、スポーツ活動をするために必要だと思うこと	25
(8) 港区の文化財や郷土資料について思うこと	28
(9) 東京オリンピック・パラリンピック開催について思うこと	31
(10) 区立図書館に求める役割	33
(11) 今後、港区の教育行政に期待すること	36
(12) 港区の教育行政に関する自由なご意見等をお書きください	40

1 調査概要

(1) 調査目的

港区教育委員会では、平成27年度からの10年間を通じて港区が目指すべき教育の理念として、港区が目指す教育、目指す人間像を示し、その理念の実現に向けた取組みの視点と方向性を示す「港区教育ビジョン」を策定することとしました。

本調査は、策定に先立ち、基礎資料とさせていただくため、実施しました。

(2) 調査期間

平成26年2月14日（金）～平成26年3月5日（木）（20日間）

(3) 調査対象者

平成25年度区政モニター	25名
平成25年度アンケート協力員	572名
合計	597名

(4) 調査設計

フェイスシート	6問
設問	12問

(5) 調査方法

郵送調査

(6) 回答状況

送付数 597件 回収数 496件 回収率 83.1%

【集計結果の見方】

- 集計結果は百分率（単位：％）で表示し、小数点第2位を四捨五入しました。
そのため、合計が100%にならないものがあります。
- 回答者数が「0」の場合は数値を表示していません。
- 「n」は有効回答数を表します。

2 結果のあらまし

港区の教育について

(1) 希望する子どもの育ち方

希望する子どもの育ち方について聞いたところ、「思いやりや優しさのある子ども」が86.7%で最も高く、以下、「健康で活発な子ども」が81.3%、「国際的な知性や感性のある子ども」が64.7%、「創造性のある子ども」が64.5%などと続いています。

(2) 子どもの教育で重要だと思うこと

子どもの教育で重要だと思うことについて聞いたところ、「社会のルールやマナーの規範意識の醸成」が80.6%で最も高く、以下、「心と体の健康づくりと安全教育」が69.8%、「家庭における基本的な教育」が67.7%、「学校における基礎的な学力向上」が66.7%などと続いています。

(3) 子どもの体力向上に必要だと思うこと

子どもの体力向上に必要だと思うことについて聞いたところ、「地域で気軽にスポーツに取り組むことのできる仕組みづくり」が68.5%で最も高く、以下、「小・中学校でのクラブ活動・部活動の充実」が54.0%、「子どもたちの体力づくりに向けた施設や設備の充実」が44.6%、「スポーツや体育の指導時間を増やす」が33.5%と続いています。

(4) 区立の小・中学校に感じる魅力

区立の小・中学校に感じる魅力について聞いたところ、「児童・生徒の安全について配慮されている」が30.4%、「地域に開かれた学校となっている」が29.4%、「施設・設備などが充実している」が25.4%などと続いています。一方、「わからない」は38.3%と高くなっています。

(5) 区立の小・中学校教育の充実のために大切だと思うこと

区立の小・中学校教育の充実のために大切だと思うことについて聞いたところ、「道徳教育を充実させる」が53.4%で最も高く、以下、「民間経験のある教育者を活用する」が49.8%、「不登校・いじめ等の相談体制を充実させる」が43.5%、「仕事や働くことへの意識を高める」が38.5%などと続いています。

(6) 地域の幼稚園や小・中学校に対しての協力意向

地域の幼稚園や小・中学校に対しての協力意向について聞いたところ、「自分が持つ知識・技能を教える」が40.5%で最も高く、以下、「通学路における子どもの見守り」が28.8%、「読み聞かせや図書の整理・貸出」が26.6%、「花壇や植え込みなどの環境整備」が22.2%などと続いています。

(7) 生涯学習活動、スポーツ活動をするために必要だと思うこと

生涯学習活動、スポーツ活動をするために必要だと思うことについて聞いたところ、「スポーツが出来る場所や機会の充実」が66.7%で最も高く、以下、「学習を行う場所や機会の充実」が63.7%、「学習やスポーツ等のイベント情報の充実」が39.5%、「自分の能力や学習成果を活かす場の充実」が28.6%などと続いています。

(8) 港区の文化財や郷土資料について思うこと

港区の文化財や郷土資料について思うことを聞いたところ、「あまり知らないので、もっとPRすることを望む」が34.5%、「区の文化財や郷土資料が次世代に引き継がれることを望む」が33.3%、「区の貴重な財産であり、文化財の保護に取り組んでいくことを望む」が27.6%と続いています。

(9) 東京オリンピック・パラリンピック開催について思うこと

東京オリンピック・パラリンピック開催について思うことを聞いたところ、「大会を観戦したい」が69.4%で最も高く、以下、「ボランティアなどで大会を支えたい」が51.8%、「開催を契機に港区をアピールしたい」が28.8%、「自分も色々なスポーツにチャレンジしてみたい」が8.1%と続いています。

(10) 区立図書館に求める役割

区立図書館に求める役割について聞いたところ、「いつでも読みたい本が読める場所」が71.8%で最も高く、以下、「子どもが安心して読書や学習ができる場所」が52.6%、「本以外でも、講座や情報を提供する場所」が46.2%、「静かに学習ができる場所」が45.2%などと続いています。

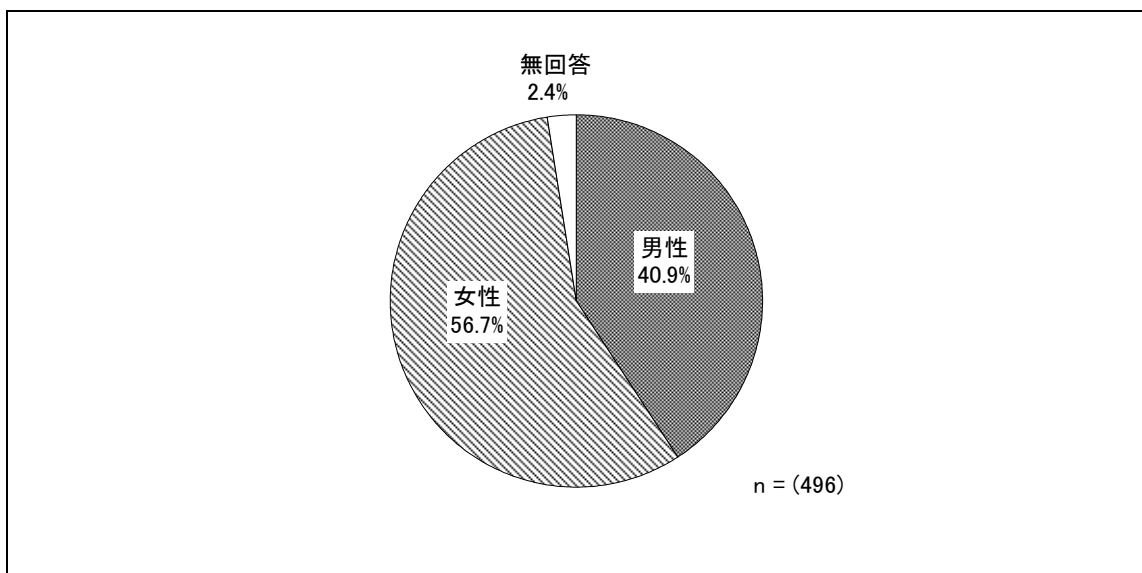
(11) 今後、港区の教育行政に期待すること

今後、港区の教育行政に期待することについて聞いたところ、「教員の資質向上対策」が59.9%で最も高く、以下、「子どもの安全対策」が54.0%、「国際理解教育の充実」が50.4%、「計画的な学力向上対策」が48.6%などと続いています。

3 質問と集計結果

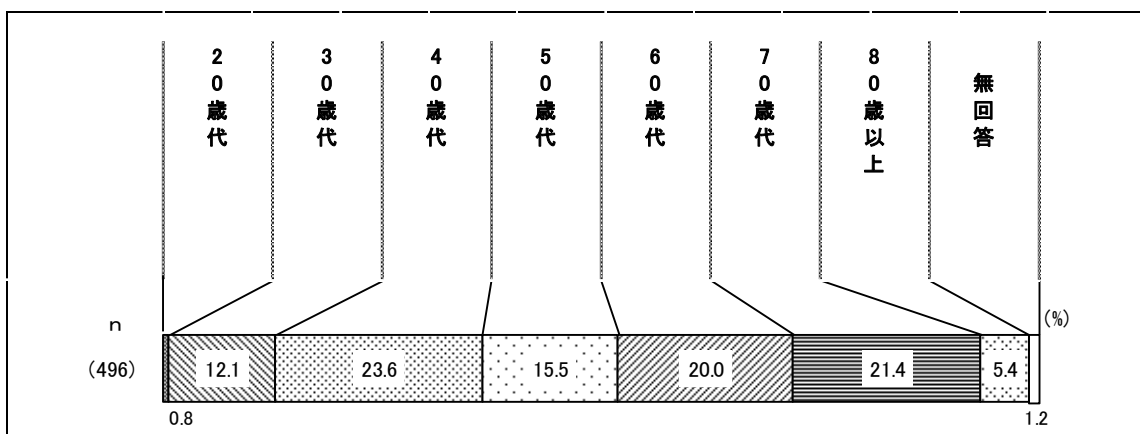
【フェイスシート】

F 1 性別



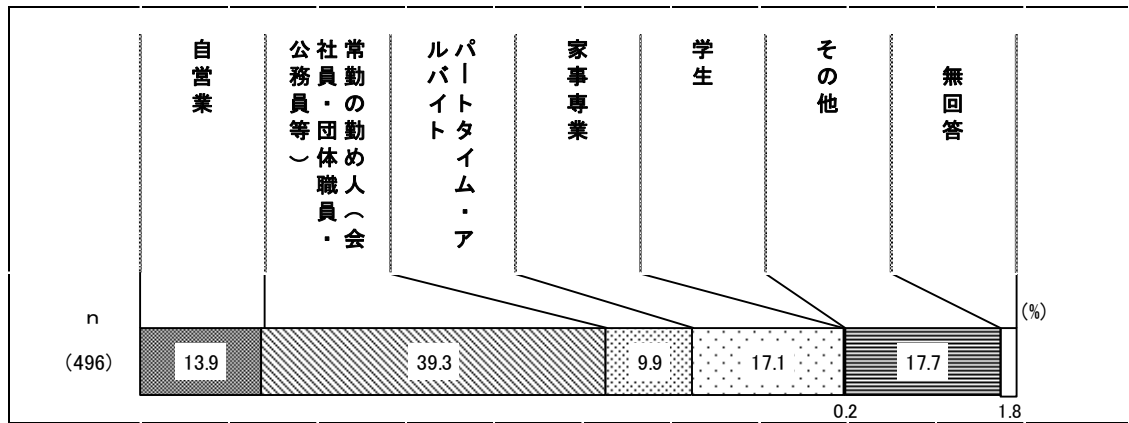
合計	男性	女性	無回答
496	203	281	12
100%	40.9%	56.7%	2.4%

F 2 年代



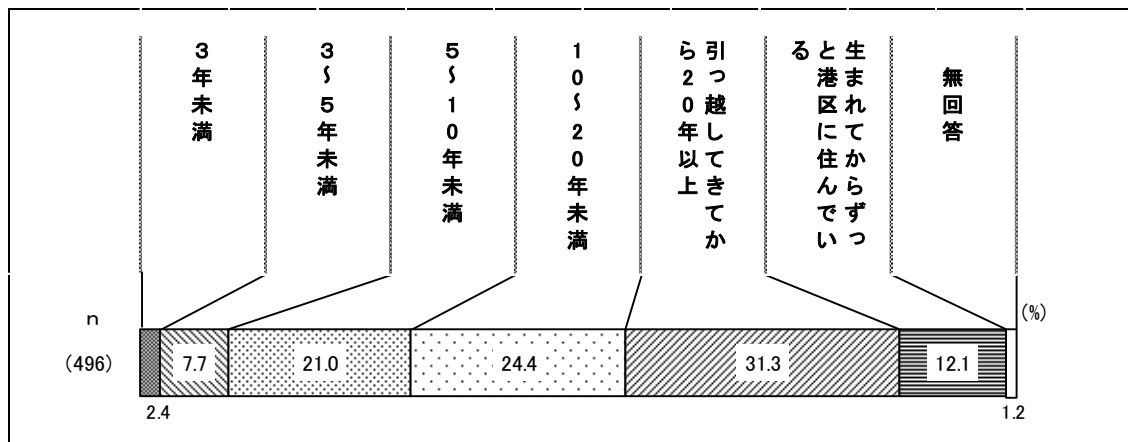
合計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
496	4	60	117	77	99	106	27	6
100%	0.8%	12.1%	23.6%	15.5%	20%	21.4%	5.4%	1.2%

F3 職業



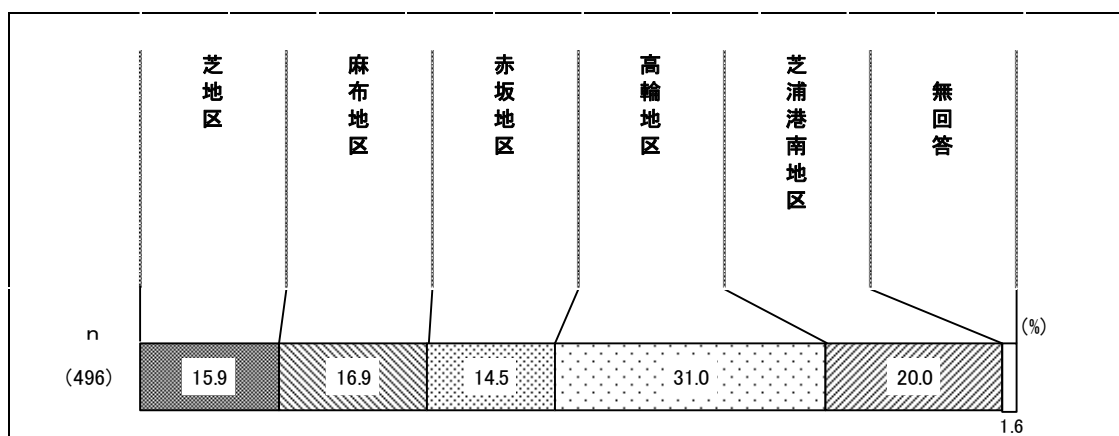
合計	自営業	常勤の勤め人(会社社員・団体職員・公務員等)	パートタイム・アルバイト	家事専業	学生	その他	無回答
496	69	195	49	85	1	88	9
100%	13.9%	39.3%	9.9%	17.1%	0.2%	17.7%	1.8%

F4 居住年数



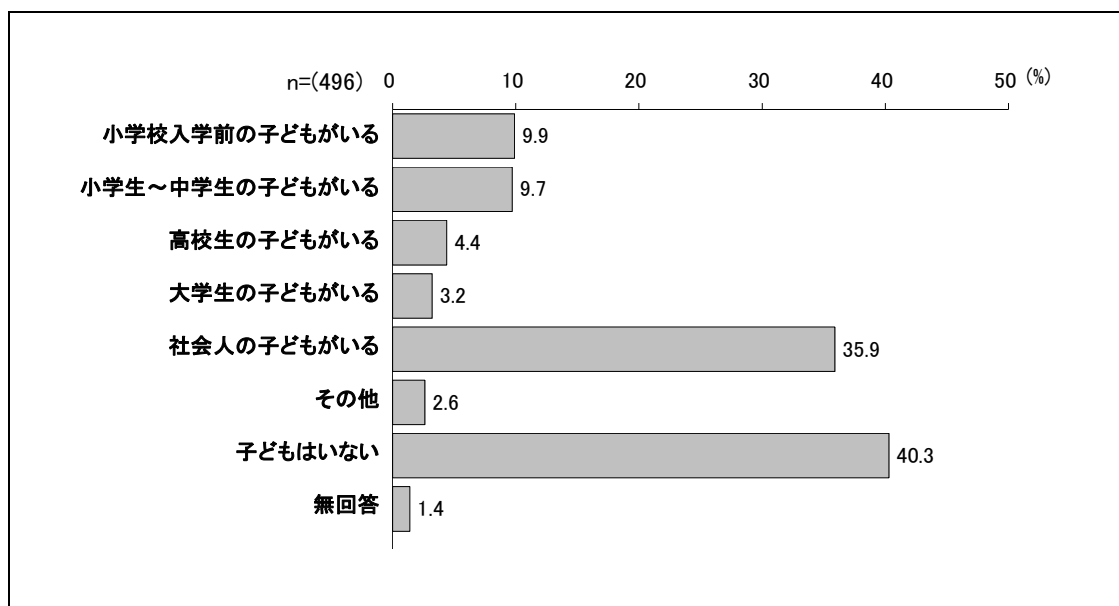
合計	3年未満	3~5年未満	5~10年未満	10~20年未満	引っ越してきてから20年以上	生まれてからずっと港区に住んでいる	無回答
496	12	38	104	121	155	60	6
100%	2.4%	7.7%	21%	24.4%	31.3%	12.1%	1.2%

F5 居住地区



合計	芝地区	麻布地区	赤坂地区	高輪地区	芝浦港南地区	無回答
496	79	84	72	154	99	8
100%	15.9%	16.9%	14.5%	31.0%	20.0%	1.6%

F6 子育て状況



合計	小学校入学前の子どもがいる	小学生～中学生の子どもがいる	高校生の子どもがいる	大学生の子どもがいる	社会人の子どもがいる	その他	子どもはいない	無回答
496	49	48	22	16	178	13	200	7
100%	9.9%	9.7%	4.4%	3.2%	35.9%	2.6%	40.3%	1.4%

【調査結果】

港区の教育について

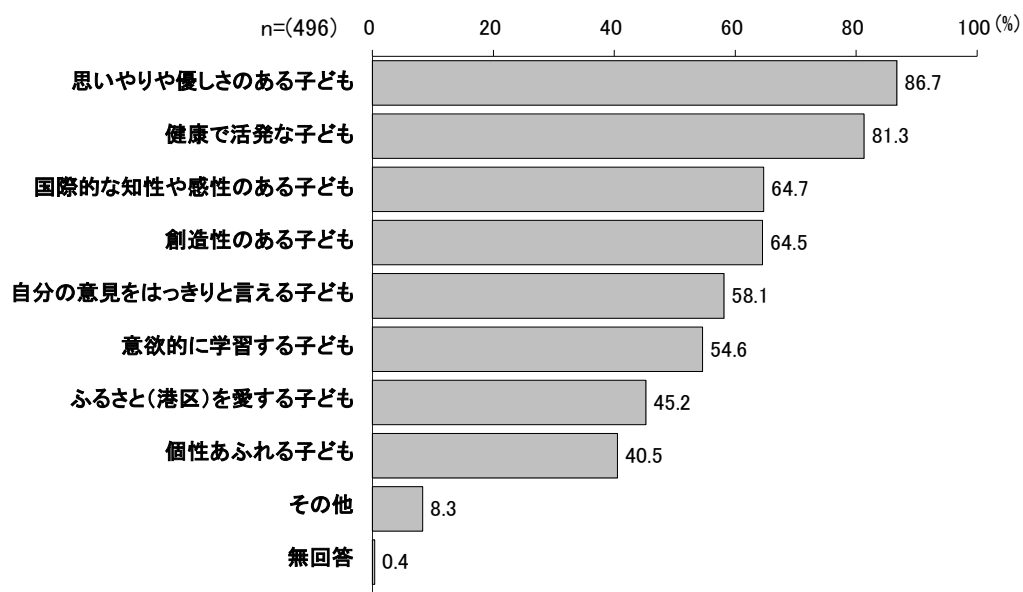
(1) 希望する子どもの育ち方

【問1】 港区の子どもたちがどのように育って欲しいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 健康で活発な子ども
- 2 意欲的に学習する子ども
- 3 創造性のある子ども
- 4 思いやりや優しさのある子ども
- 5 個性あふれる子ども
- 6 国際的な知性や感性のある子ども
- 7 ふるさと（港区）を愛する子ども
- 8 自分の意見をはっきりと言える子ども
- 9 その他

希望する子どもの育ち方について聞いたところ、「思いやりや優しさのある子ども」が86.7%で最も高く、以下、「健康で活発な子ども」が81.3%、「国際的な知性や感性のある子ども」が64.7%、「創造性のある子ども」が64.5%などと続いています。

グラフ1 希望する子どもの育ち方 （有効回答=496）



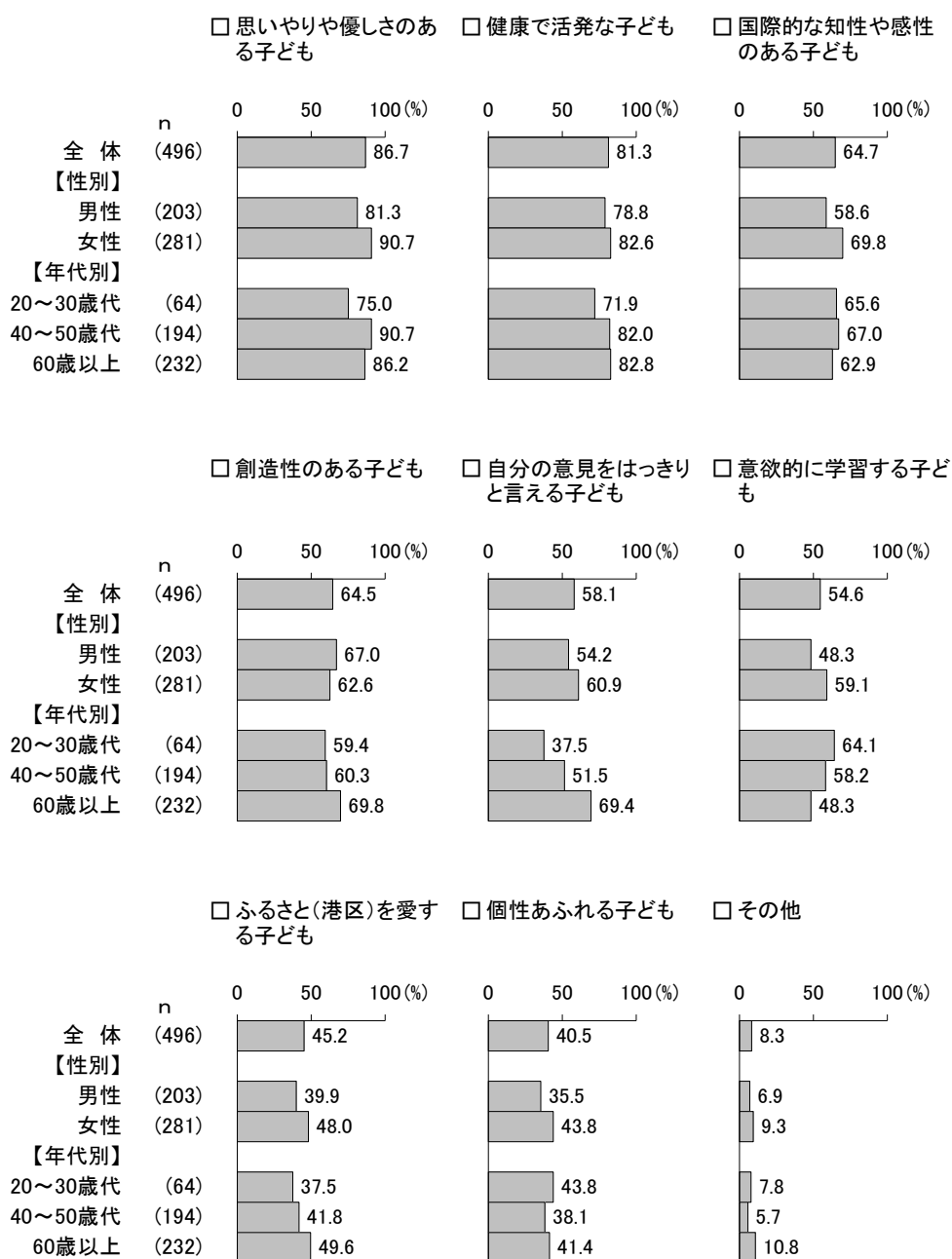
【性別】

性別で比較すると、「創造性のある子ども」は男性で67.0%と女性より4.4ポイント高くなっています。それ以外は女性が高くなっており、特に「国際的な知性や感性のある子ども」は69.8%で、男性の58.6%より11.2ポイント高くなっています。

【年代別】

年代別で比較すると、「健康で活発な子ども」、「自分の意見をはっきりと言える子ども」、「ふるさと（港区）を愛する子ども」は年代が上がるほど高くなっており、特に「自分の意見をはっきりと言える子ども」は60歳以上では69.4%と20～30歳代の37.5%より31.9ポイント高くなっています。一方、「意欲的に学習する子ども」は年代が下がるにつれて高く、20～30歳代では64.1%と60歳以上の48.3%より15.8ポイント高くなっています。

グラフ2 希望する子どもの育ち方 性別、年代別（有効回答＝496）



「その他」の回答〔主なもの〕

- ・挨拶がしっかりできる礼儀正しい子ども（6件）
- ・ルールを守る子ども（4件）
- ・自分の価値基準をしっかり持つ子ども
- ・心の健康、健全な子ども
- ・自主性を持った子ども
- ・親を大切にする子ども
- ・協調性・強い精神力・助け合う心のある子ども
- ・責任感のある子ども

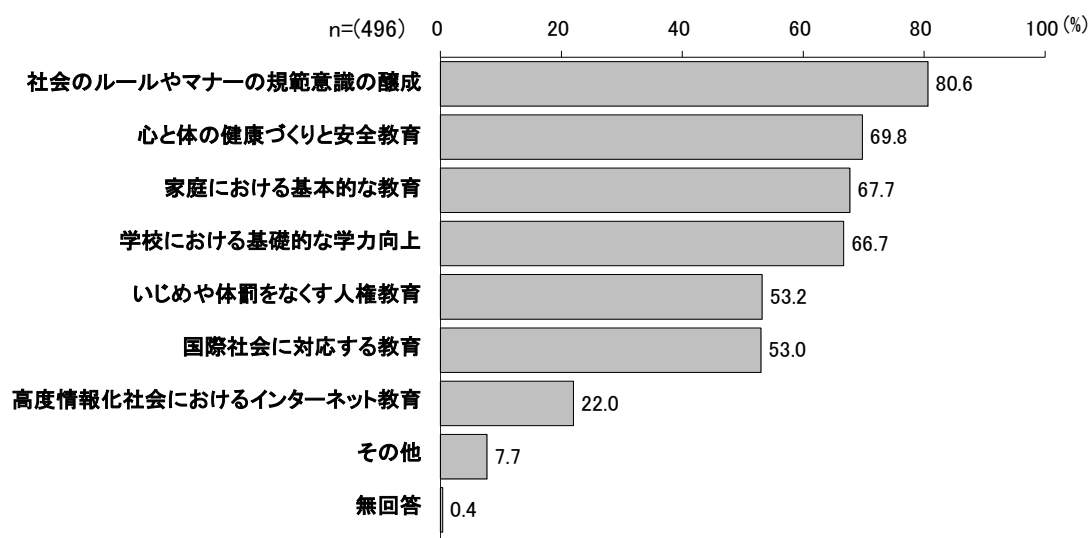
(2) 子どもの教育で重要だと思うこと

【問2】子どもの教育で、何が重要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 いじめや体罰をなくす人権教育
- 2 学校における基礎的な学力向上
- 3 高度情報化社会におけるインターネット教育
- 4 心と体の健康づくりと安全教育
- 5 家庭における基本的な教育
- 6 社会のルールやマナーの規範意識の醸成
- 7 国際社会に対応する教育
- 8 その他

子どもの教育で重要だと思うことについて聞いたところ、「社会のルールやマナーの規範意識の醸成」が80.6%で最も高く、以下、「心と体の健康づくりと安全教育」が69.8%、「家庭における基本的な教育」が67.7%、「学校における基礎的な学力向上」が66.7%などと続いています。

グラフ1 子どもの教育で重要だと思うこと (有効回答=496)



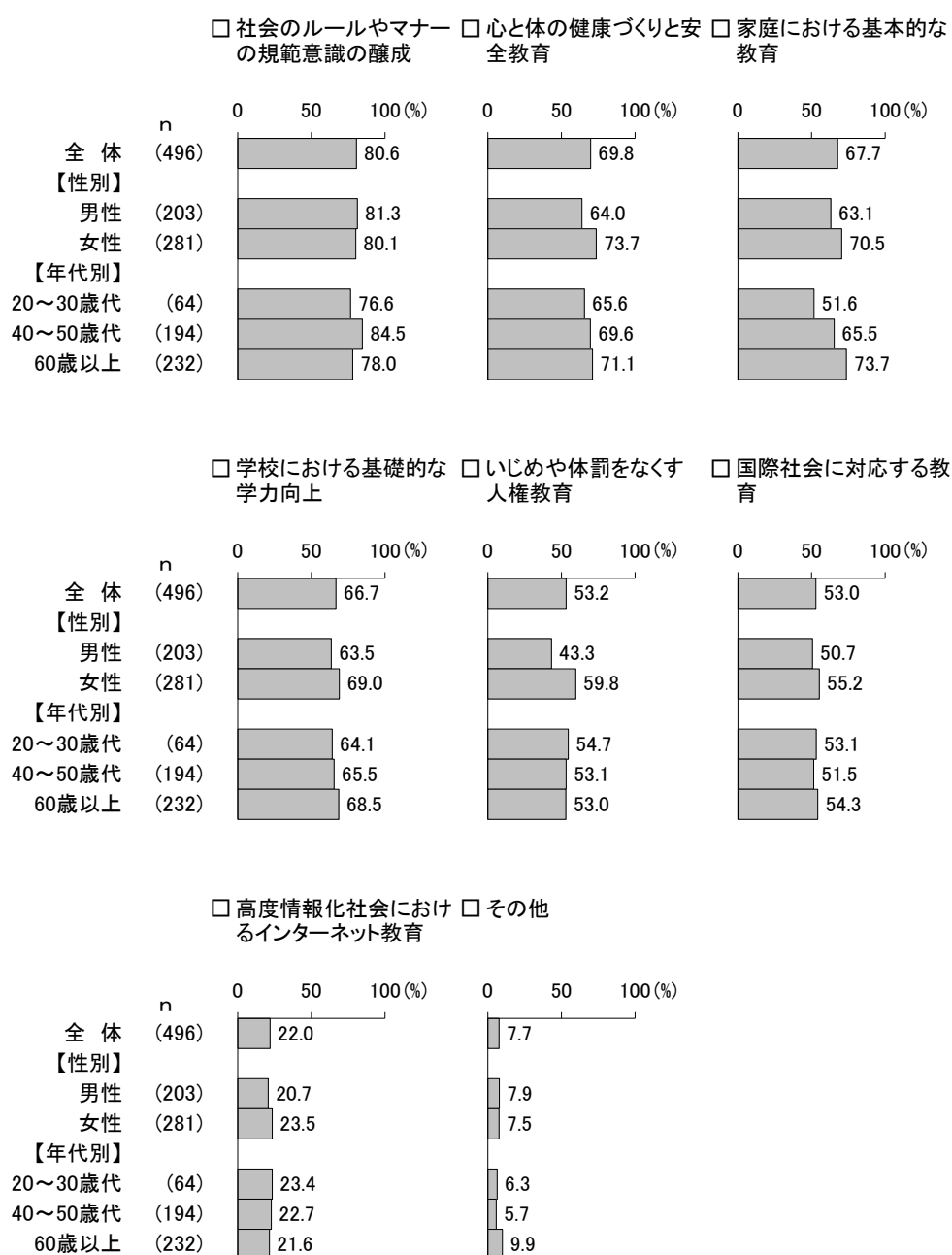
【性別】

性別で比較すると、「社会のルールやマナーの規範意識の醸成」は男性で81.3%と高く、それ以外は女性の方が高くなっています。特に「いじめや体罰をなくす人権教育」は女性が59.8%で、男性の43.3%よりも16.5ポイント高くなっています。

【年代別】

年代別で比較すると、「心と体の健康づくりと安全教育」、「家庭における基本的な教育」、「学校における基礎的な学力向上」は年代が上がるほど高く、特に「家庭における基本的な教育」は60歳以上では73.7%と20～30歳代の51.6%より22.1ポイント高くなっています。

グラフ2 子どもの教育で重要だと思うこと 性別、年代別 (有効回答=496)



「その他」の回答〔主なもの〕

- ・ 1人ひとりの子どもの個性を伸ばす教育（5件）
- ・ 思いやりの心（3件）
- ・ 他人を尊重できる、多様な価値観を理解できる教育
- ・ コミュニケーション能力
- ・ 職業人となるための教育
- ・ 事実に即した歴史教育
- ・ 地域での子育て
- ・ 塾通いのいない教育

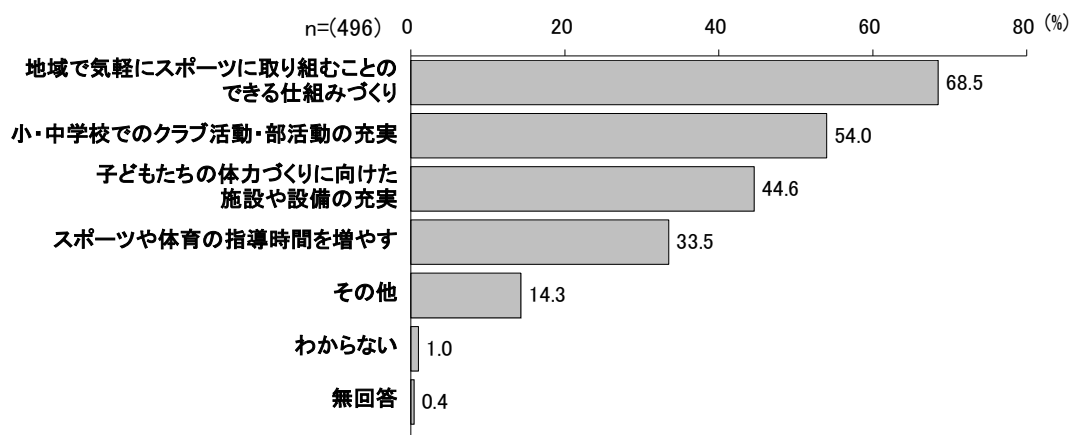
(3) 子どもの体力向上に必要なだと思うこと

【問3】子どもの体力向上には、何が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 スポーツや体育の指導時間を増やす
- 2 小・中学校でのクラブ活動・部活動の充実
- 3 子どもたちの体力づくりに向けた施設や設備の充実
- 4 地域で気軽にスポーツに取り組むことのできる仕組みづくり
- 5 その他
- 6 わからない

子どもの体力向上に必要なと思うことについて聞いたところ、「地域で気軽にスポーツに取り組むことのできる仕組みづくり」が68.5%で最も高く、以下、「小・中学校でのクラブ活動・部活動の充実」が54.0%、「子どもたちの体力づくりに向けた施設や設備の充実」が44.6%、「スポーツや体育の指導時間を増やす」が33.5%と続いています。

グラフ1 子どもの体力向上に必要なと思うこと (有効回答=496)



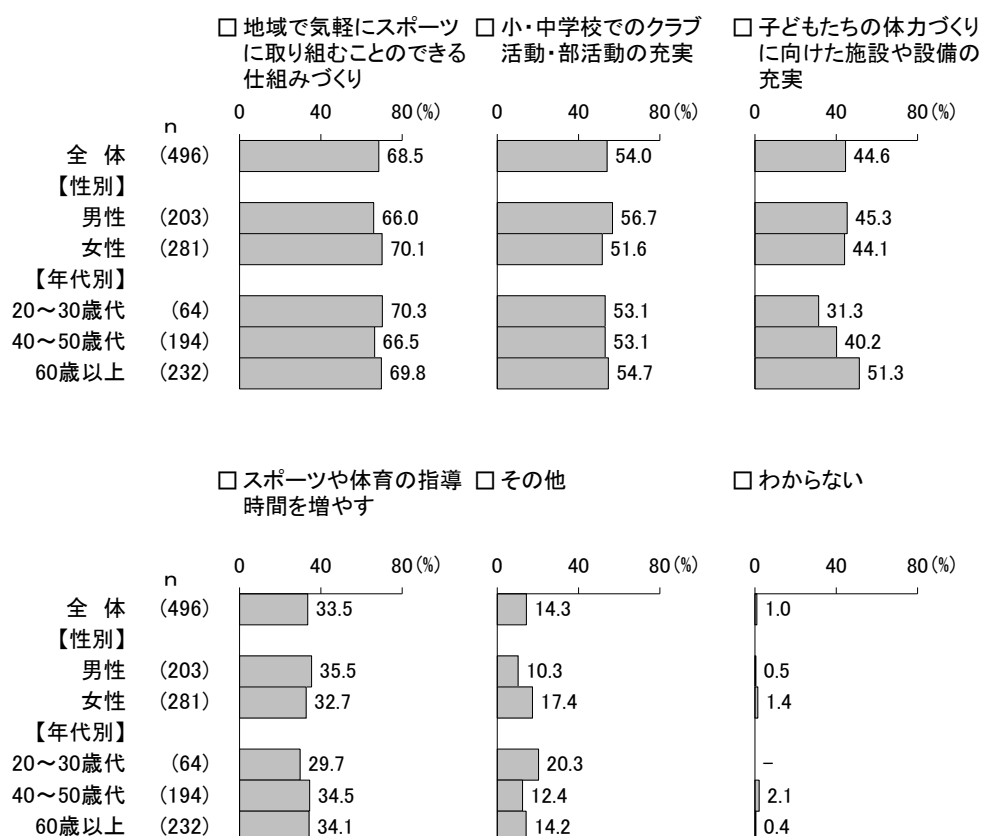
【性別】

性別で比較すると、「小・中学校でのクラブ活動・部活動の充実」は男性が56.7%で、女性の51.6%よりも5.1ポイント高くなっています。

【年代別】

年代別で比較すると、「子どもたちの体力づくりに向けた施設や設備の充実」は年代が上がるほど高く、60歳以上では51.3%と20～30歳代の31.3%より20.0ポイント高くなっています。

グラフ2 子どもたちの体力向上に必要なと思うこと 性別、年代別 (有効回答=496)



「その他」の回答〔主なもの〕

- ・ スポーツの楽しさを教える教育 (9件)
- ・ 自由に遊べる公園、施設 (9件)
- ・ 家庭での食育 (6件)
- ・ スポーツインストラクターの充実・養成
- ・ TVゲームをさせない
- ・ 無理強いをしないこと
- ・ 家の手伝い、公共の場の清掃活動
- ・ 林間学校や、里山にふれあい走り回る機会を与える

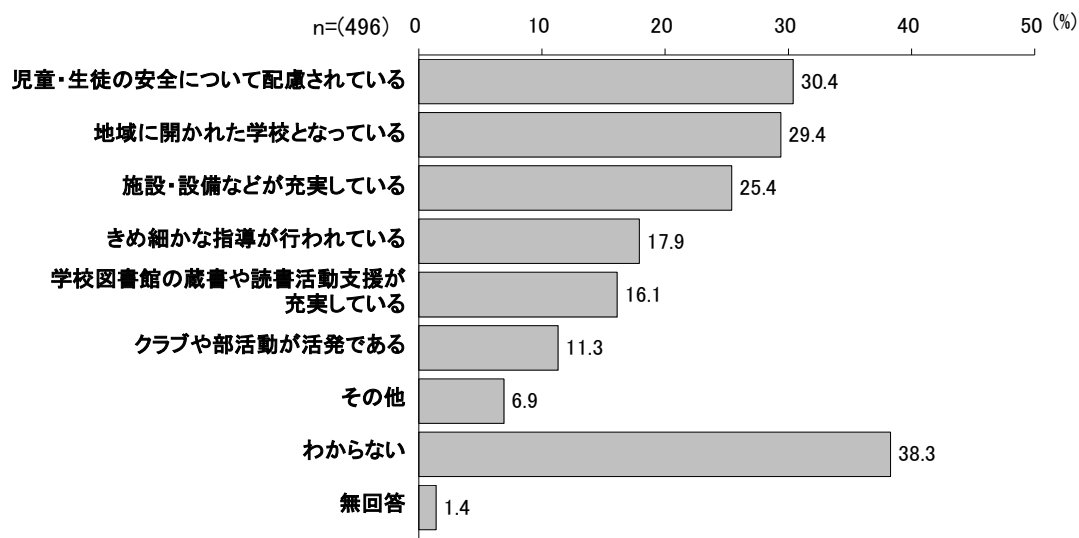
(4) 区立の小・中学校に感じる魅力

【問4】 区立の小・中学校にどのような魅力を感じますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 きめ細かな指導が行われている
- 2 児童・生徒の安全について配慮されている
- 3 地域に開かれた学校となっている
- 4 クラブや部活動が活発である
- 5 学校図書館の蔵書や読書活動支援が充実している
- 6 施設・設備などが充実している
- 7 その他
- 8 わからない

区立の小・中学校に感じる魅力について聞いたところ、「児童・生徒の安全について配慮されている」が30.4%、「地域に開かれた学校となっている」が29.4%、「施設・設備などが充実している」が25.4%などと続いています。一方、「わからない」は38.3%と高くなっています。

グラフ1 区立の小・中学校に感じる魅力 (有効回答=496)



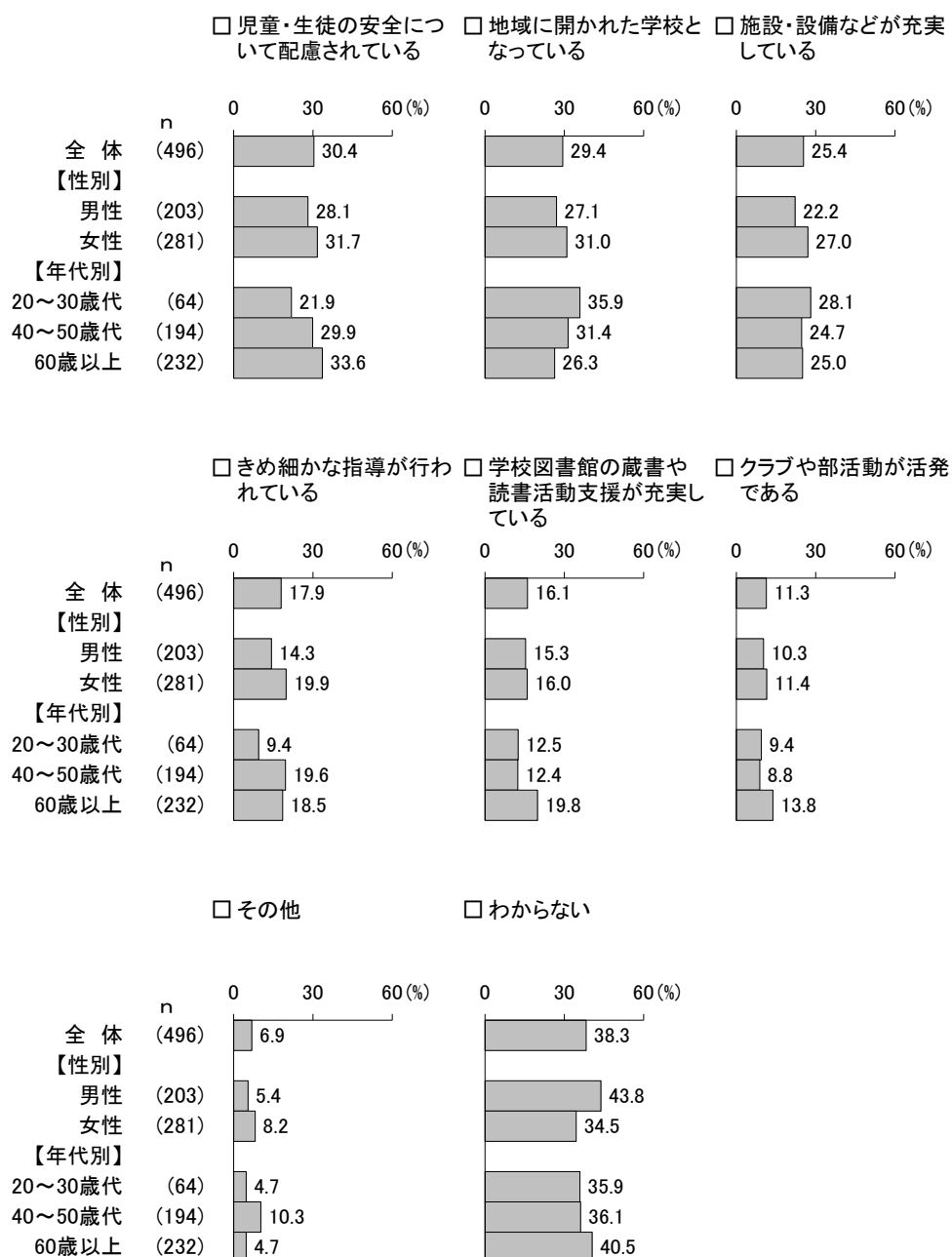
【性別】

性別で比較すると、全ての項目で女性の方が高く、特に「きめ細かな指導が行われている」は女性が19.9%で、男性の14.3%より5.6ポイント高くなっています。一方「わからない」は男性が43.8%で、女性の34.5%より9.3ポイント高くなっています。

【年代別】

年代別で比較すると、「児童・生徒の安全について配慮されている」は年代が上がるほど高く、60歳以上では33.6%と20～30歳代の21.9%より11.7ポイント高くなっています。一方、「地域に開かれた学校となっている」は年代が下がるほど高く、20～30代では35.9%と60歳以上の26.3%より9.6ポイント高くなっています。

グラフ2 区立の小・中学校に感じる魅力 性別、年代別 (有効回答=496)



「その他」の回答〔主なもの〕

- ・学校と自宅が近く、地域住民が子どもたちを見守ってくれる（5件）
- ・私立と違いいろいろな人と出会う（4件）
- ・私立校よりも安価で教育を受けられる（3件）
- ・先生が公平に子どもに接している
- ・のびのびとした教育が行われている
- ・基礎体力強化に力を入れている
- ・先生、子ども達に余裕とゆとりのある関係
- ・地域的な友人が出来る

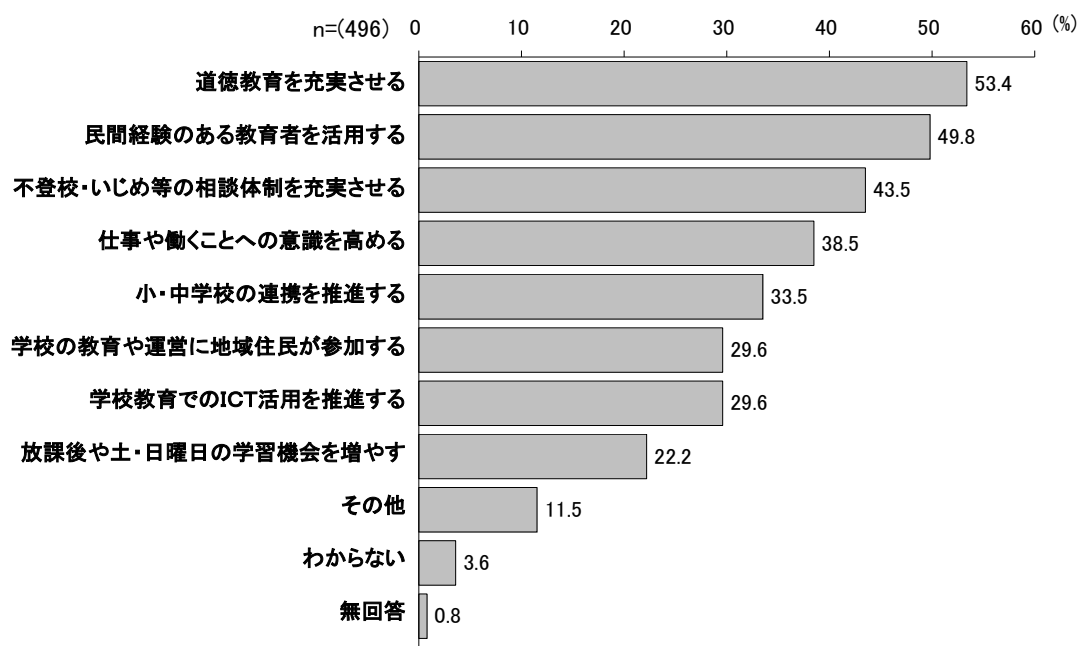
(5) 区立の小・中学校教育の充実のために大切だと思うこと

【問5】 区立の小・中学校教育の充実のため、何が大切だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 小・中学校の連携を推進する
- 2 学校の教育や運営に地域住民が参加する
- 3 民間経験のある教育者を活用する
- 4 放課後や土・日曜日の学習機会を増やす
- 5 仕事や働くことへの意識を高める
- 6 道徳教育を充実させる
- 7 学校教育でのICT活用を推進する
- 8 不登校・いじめ等の相談体制を充実させる
- 9 その他
- 10 わからない

区立の小・中学校教育の充実のために大切だと思うことについて聞いたところ、「道徳教育を充実させる」が53.4%で最も高く、以下、「民間経験のある教育者を活用する」が49.8%、「不登校・いじめ等の相談体制を充実させる」が43.5%、「仕事や働くことへの意識を高める」が38.5%などと続いています。

グラフ1 区立の小・中学校教育の充実のために大切だと思うこと（有効回答＝496）



【性別】

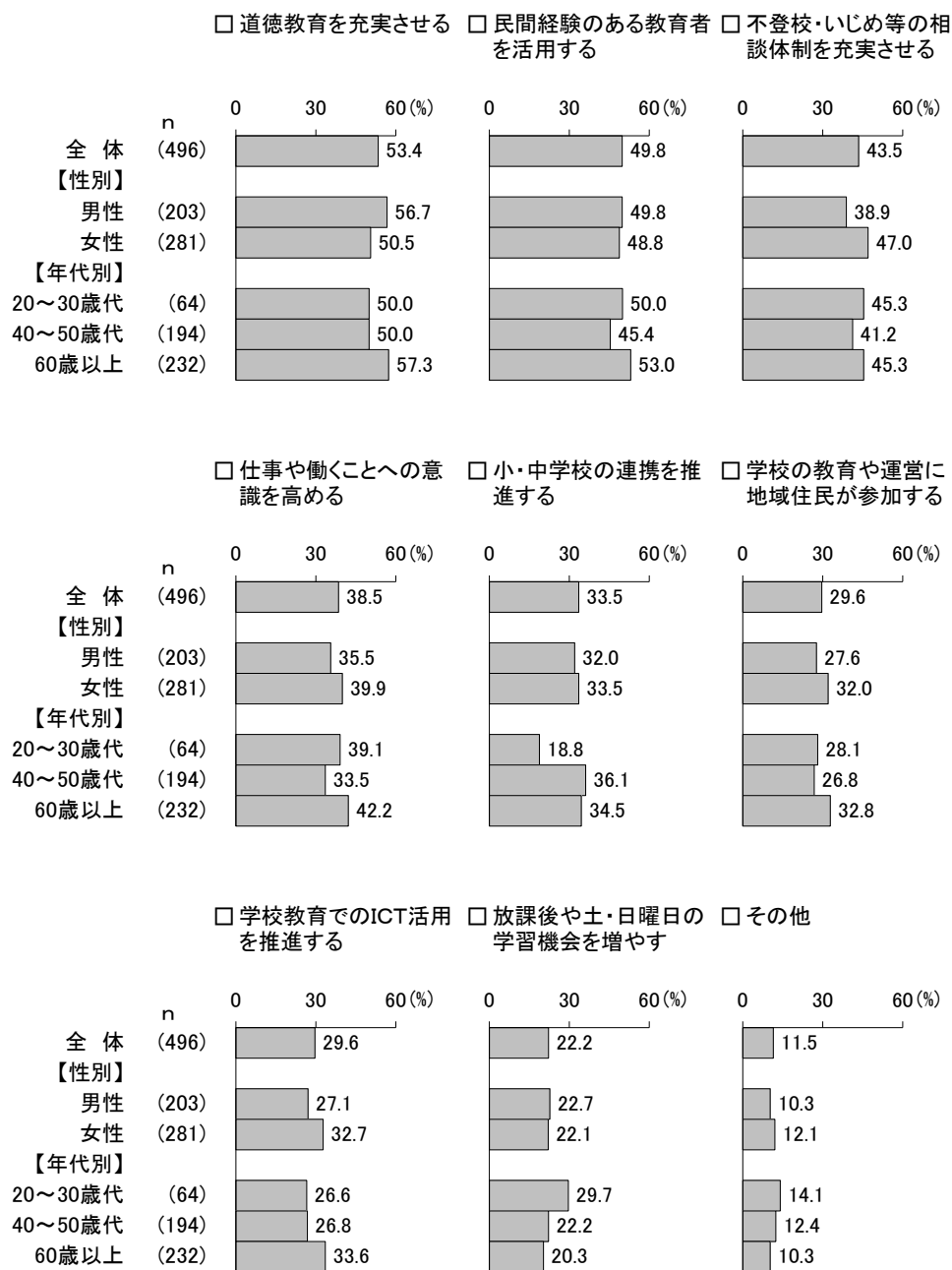
性別で比較すると、「道德教育を充実させる」は男性が56.7%で、女性の50.5%より6.2ポイント高く、「不登校・いじめ等の相談体制を充実させる」は女性が47.0%で、男性の38.9%より8.1ポイント高くなっています。

【年代別】

年代別で比較すると、「道德教育を充実させる」、「学校教育でのICT活用を推進する」は年代が上がるほど高くなっており、「道德教育を充実させる」は60歳以上で57.3%と20～30歳代及び40～50歳代の50.0%より7.3ポイント高く、「学校教育でのICT活用を推進する」は60歳以上で33.6%と20～30歳代の26.6%より7.0ポイント高くなっています。一方、「放課後や土・日曜日の学習機会を増やす」は年代が下がるほど高くなっており、20～30歳代では29.7%と60歳以上の20.3%より9.4ポイント高くなっています。

グラフ2 区立の小・中学校教育の充実のために大切だと思うこと 性別、年代別

(上位9項目) (有効回答=496)



「その他」の回答〔主なもの〕

- ・優れた教員の配置（9件）
- ・学校と家庭の連携を推進する
- ・学校と警察の連携を強める。いじめはすぐ警察へ
- ・社会性を持たせる機会を増やす
- ・学校間の横のつながりを作って欲しい
- ・ICTの利用でなく、ICTのリテラシーを身に付けさせる
- ・モンスターペアレント対策
- ・全ての児童、生徒にタブレットを貸与し、授業や学習に活用する
- ・英語教育強化の為にネイティブスピーカーの活用

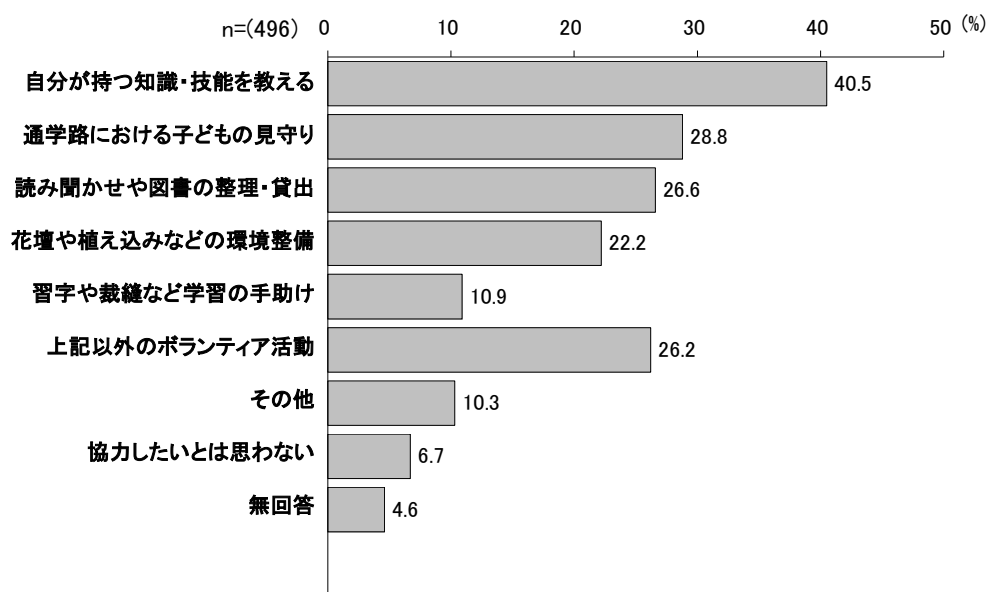
(6) 地域の幼稚園や小・中学校に対しての協力意向

【問6】地域の幼稚園や小・中学校に対して、協力してみたいこと（協力していること）はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 自分が持つ知識・技能を教える
- 2 通学路における子どもの見守り
- 3 花壇や植え込みなどの環境整備
- 4 読み聞かせや図書の整理・貸出
- 5 習字や裁縫など学習の手助け
- 6 上記以外のボランティア活動
- 7 その他
- 8 協力したいとは思わない

地域の幼稚園や小・中学校に対しての協力意向について聞いたところ、「自分が持つ知識・技能を教える」が40.5%で最も高く、以下、「通学路における子どもの見守り」が28.8%、「読み聞かせや図書の整理・貸出」が26.6%、「花壇や植え込みなどの環境整備」が22.2%などと続いています。

グラフ1 地域の幼稚園や小・中学校に対しての協力意向（有効回答=496）



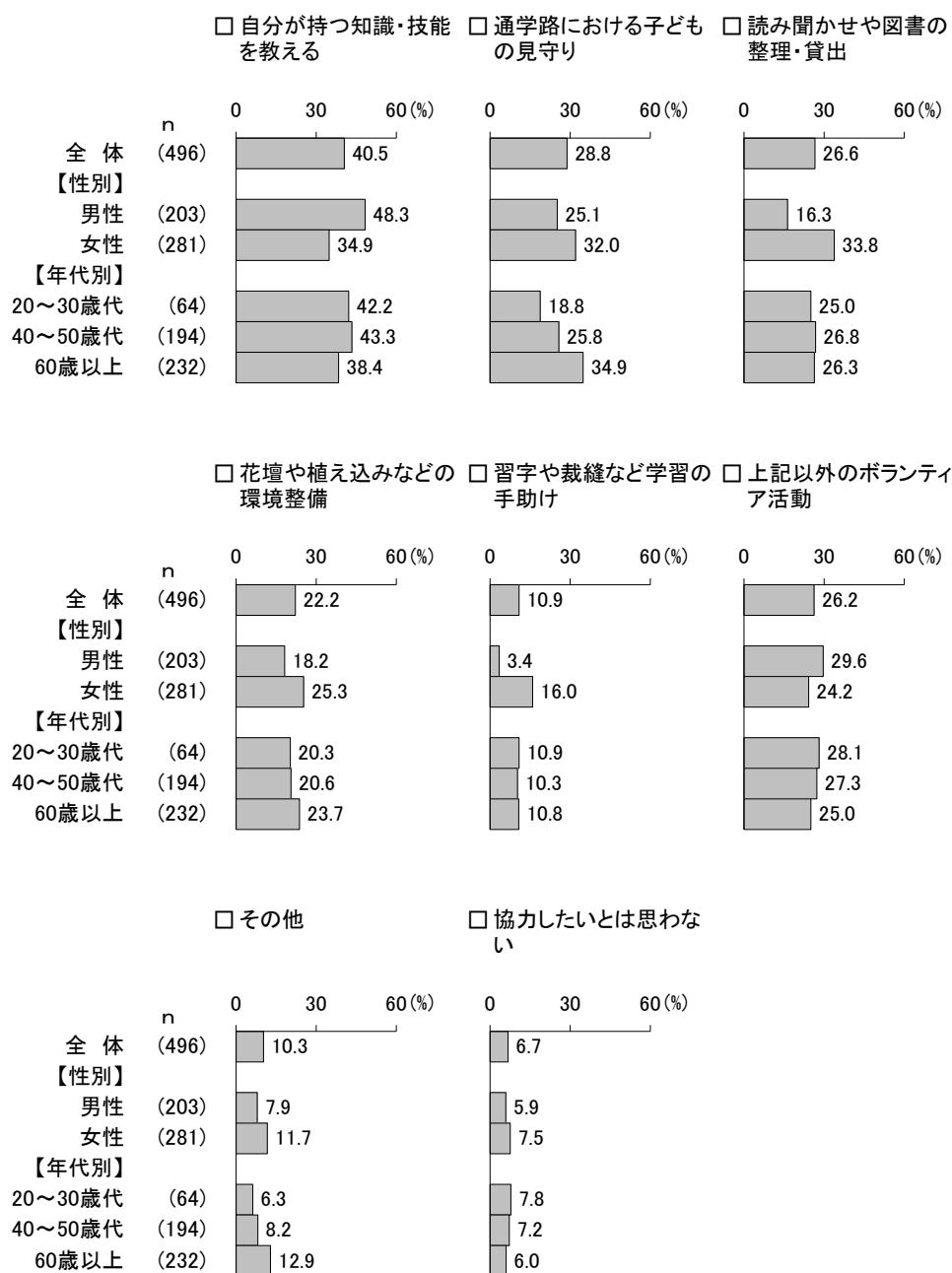
【性別】

性別で比較すると、「自分が持つ知識・技能を教える」は男性で48.3%、女性で34.9%と13.4ポイント、「上記以外のボランティア活動」は男性で29.6%、女性で24.2%と5.4ポイント男性の方が高くなっています。それ以外は女性の方が高くなっており、特に「読み聞かせや図書の整理・貸出」は女性で33.8%と男性の16.3%より17.5ポイント高くなっています。

【年代別】

年代別で比較すると、「通学路における子どもの見守り」は年代が上がるほど高く、60歳以上では34.9%と20～30歳代の18.8%より16.1ポイント高くなっています。

グラフ2 地域の幼稚園や小・中学校に対しての協力意向 性別、年代別
(有効回答=496)



「その他」の回答〔主なもの〕

- ・ 協力したいが、時間がない（7件）
- ・ 下校時の子どもを送る（3件）
- ・ クラブや部活動への助力（3件）
- ・ 防災訓練
- ・ 行事、行儀
- ・ お祭り等

(7) 生涯学習活動、スポーツ活動をするために必要だと思うこと

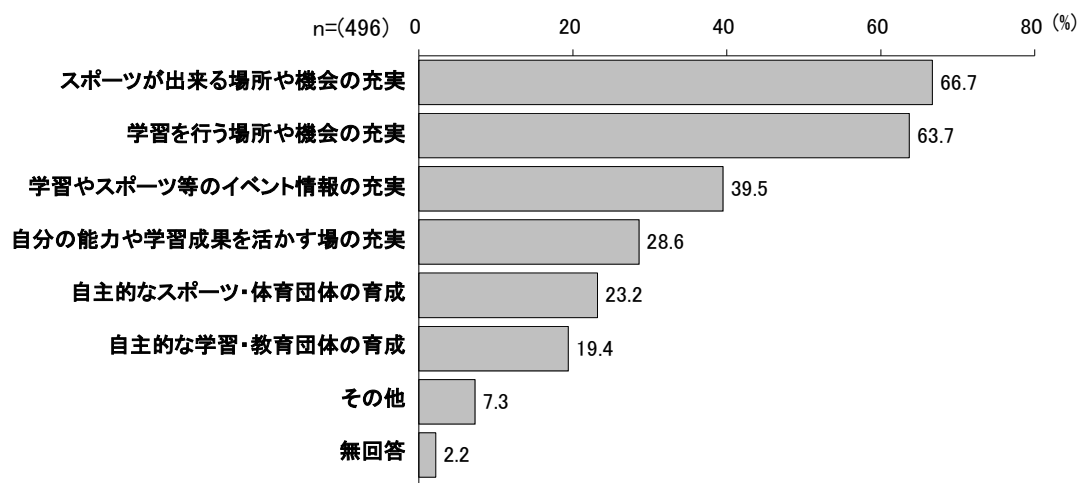
【問7】あなたが生涯学習活動、スポーツ活動をするためには、何が必要だと思いますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 学習を行う場所や機会の充実
- 2 スポーツが出来る場所や機会の充実
- 3 学習やスポーツ等のイベント情報の充実
- 4 自主的な学習・教育団体の育成
- 5 自主的なスポーツ・体育団体の育成
- 6 自分の能力や学習成果を活かす場の充実
- 7 その他

生涯学習活動、スポーツ活動をするために必要だと思うことについて聞いたところ、「スポーツが出来る場所や機会の充実」が66.7%で最も高く、以下、「学習を行う場所や機会の充実」が63.7%、「学習やスポーツ等のイベント情報の充実」が39.5%、「自分の能力や学習成果を活かす場の充実」が28.6%などと続いています。

グラフ1 生涯学習活動、スポーツ活動をするために必要だと思うこと

(有効回答=496)



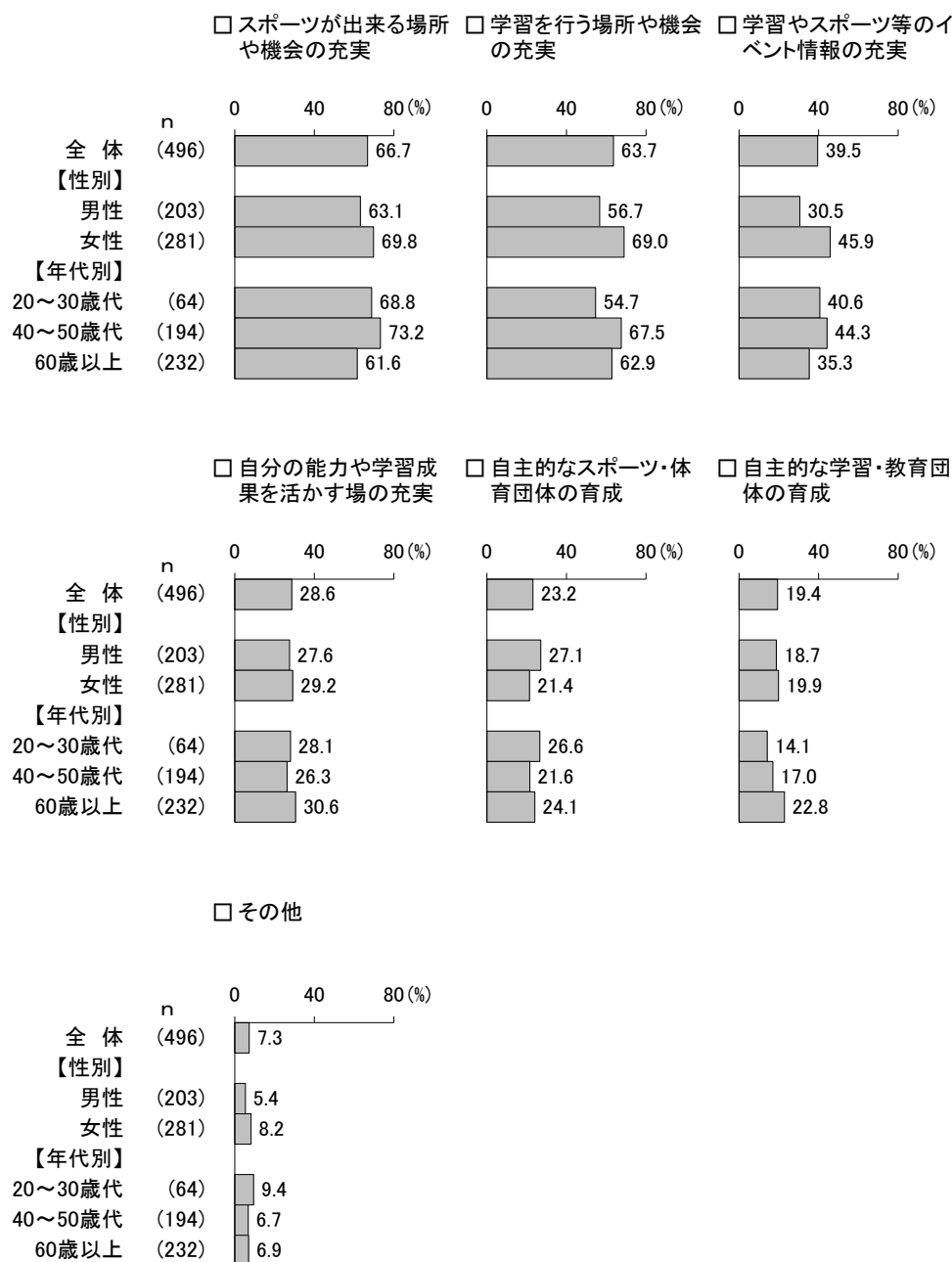
【性別】

性別で比較すると、「自主的なスポーツ・体育団体の育成」は男性で27.1%、女性で21.4%と男性の方が5.7ポイント高くなっていますが、それ以外は女性の方が高くなっており、特に「学習やスポーツ等のイベント情報の充実」は女性で45.9%と男性の30.5%より15.4ポイント高くなっています。

【年代別】

年代別で比較すると、「スポーツが出来る場所や機会の充実」、「学習を行う場所や機会の充実」、「学習やスポーツ等のイベント情報の充実」は40～50歳代で高くなっており、特に「スポーツが出来る場所や機会の充実」は40～50歳代で73.2%と7割を超えています。

グラフ2 生涯学習活動、スポーツ活動をするために必要だと思うこと 性別、年代別
(有効回答=496)



「その他」の回答〔主なもの〕

- ・ 時間的・精神的余裕（5件）
- ・ 週末の学習やスポーツイベントの開催（5件）
- ・ 今で十分と考えられる（3件）
- ・ 子どもを預かってもらえる場所
- ・ 防災訓練
- ・ 行事、行儀
- ・ お祭り等

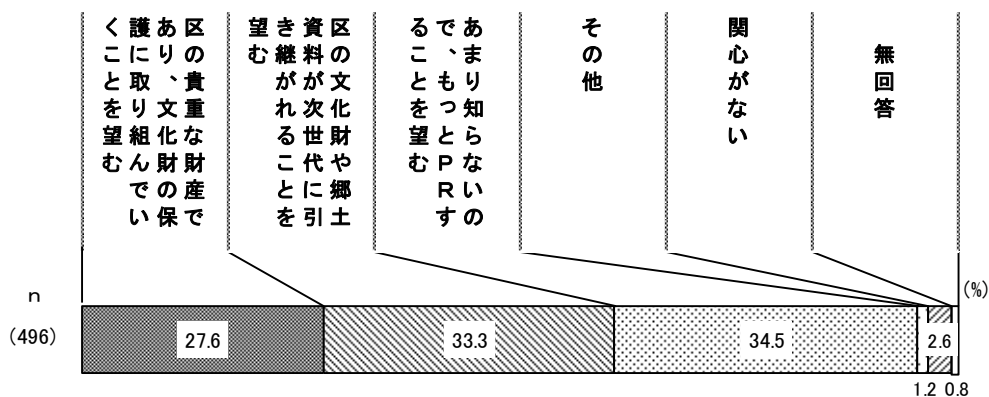
(8) 港区の文化財や郷土資料について思うこと

【問8】 港区の文化財や郷土資料について、どのように思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 区の貴重な財産であり、文化財の保護に取り組んでいくことを望む
- 2 区の文化財や郷土資料が次世代に引き継がれることを望む
- 3 あまり知らないので、もっとPRすることを望む
- 4 その他
- 5 関心がない

港区の文化財や郷土資料について思うことを聞いたところ、「あまり知らないので、もっとPRすることを望む」が34.5%、「区の文化財や郷土資料が次世代に引き継がれることを望む」が33.3%、「区の貴重な財産であり、文化財の保護に取り組んでいくことを望む」が27.6%と続いています。

グラフ1 港区の文化財や郷土資料について思うこと (有効回答=496)



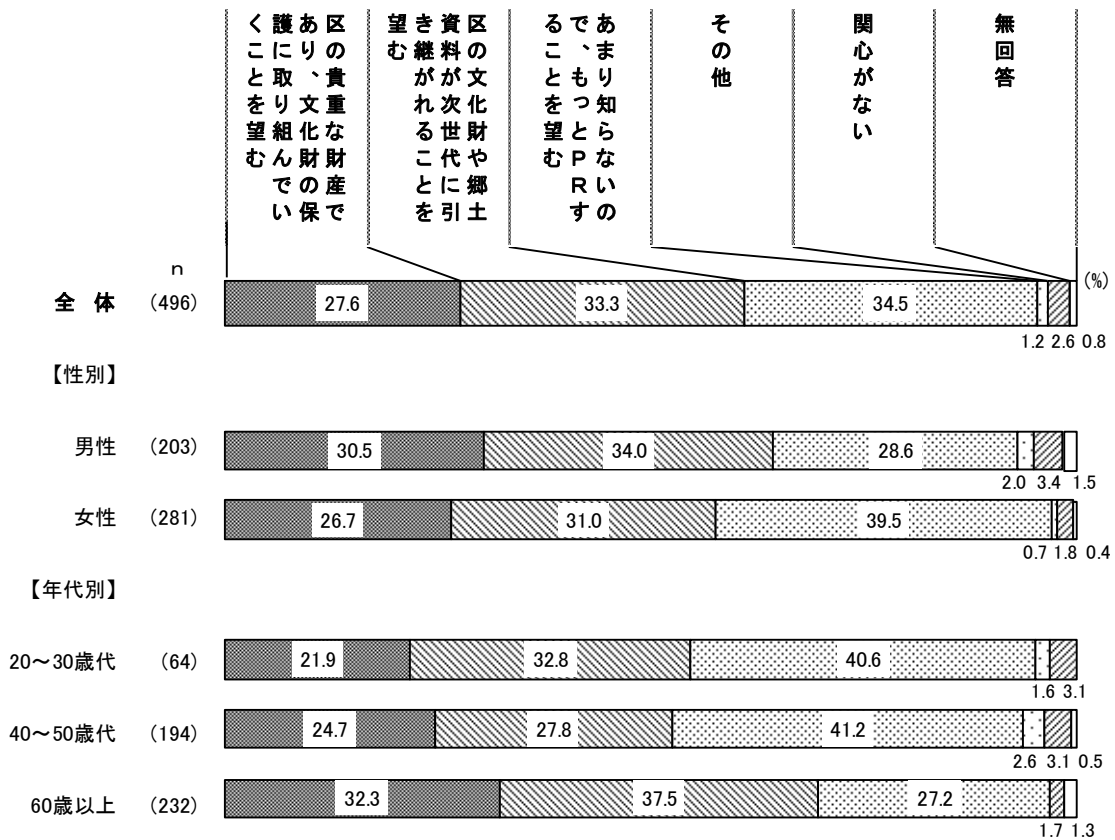
【性別】

性別で比較すると、「あまり知らないので、もっとPRすることを望む」は女性が39.5%で、男性の28.6%より10.9ポイント高くなっています。

【年代別】

年代別で比較すると、「区の貴重な財産であり、文化財の保護に取り組んでいくことを望む」は年代が上がるほど高く、60歳以上では32.3%と20～30歳代の21.9%より10.4ポイント高くなっています。

グラフ2 港区の文化財や郷土資料について思うこと 性別、年代別
(有効回答=496)



「その他」の回答〔主なもの〕

- ・ 区民の有識者にみなとケーブルで解説してもらう
- ・ あまり知らないのでこれから港区が発行している刊行物を読みます
- ・ 街路樹等の保護
- ・ 貴重なものとそうでないものとの区別をする
- ・ 文化財のみにとらわれず、様々な才能の人材を港区の宝としてPRして欲しい

(9) 東京オリンピック・パラリンピック開催について思うこと

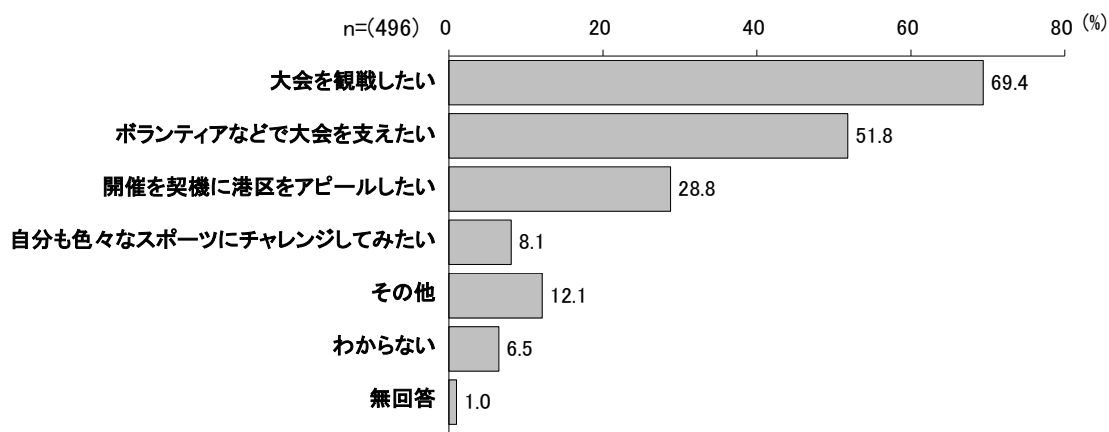
【問9】東京オリンピック・パラリンピック開催について、どのように思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 大会を観戦したい
- 2 ボランティアなどで大会を支えたい
- 3 自分も色々なスポーツにチャレンジしてみたい
- 4 開催を契機に港区をアピールしたい
- 5 その他
- 6 わからない

東京オリンピック・パラリンピック開催について思うことを聞いたところ、「大会を観戦したい」が69.4%で最も高く、以下、「ボランティアなどで大会を支えたい」が51.8%、「開催を契機に港区をアピールしたい」が28.8%、「自分も色々なスポーツにチャレンジしてみたい」が8.1%と続いています。

グラフ1 東京オリンピック・パラリンピック開催について思うこと

(有効回答=496)



【性別】

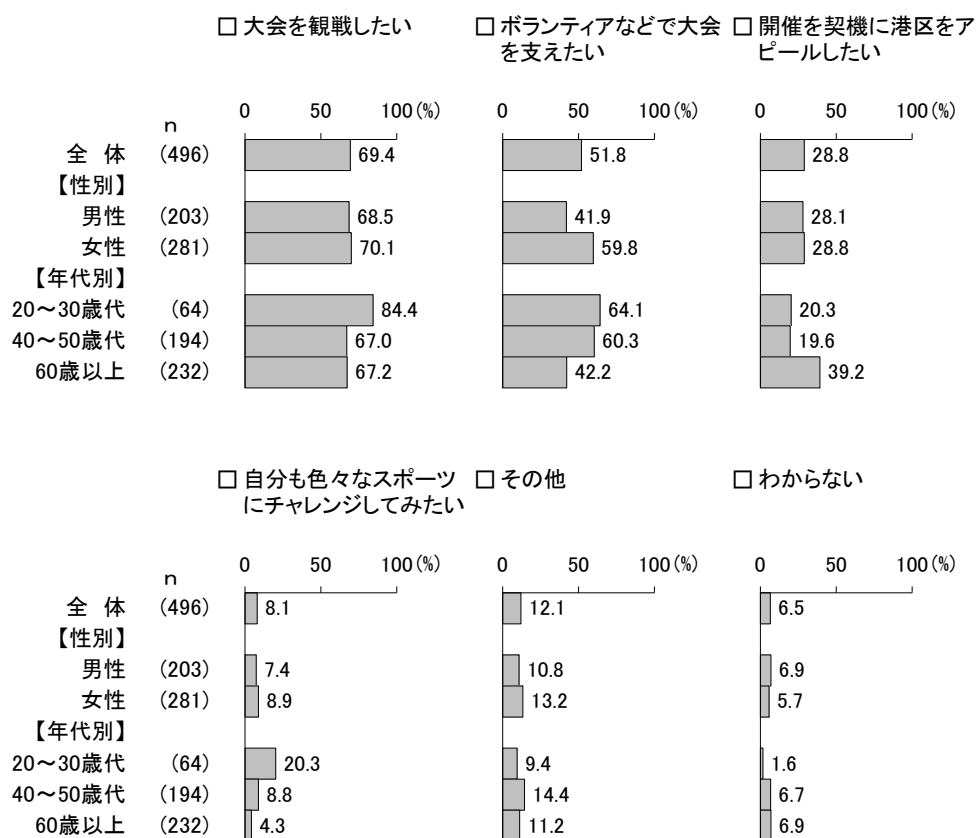
性別で比較すると、全ての項目で女性が高くなっており、特に「ボランティアなどで大会を支えたい」は女性が59.8%で、男性の41.9%より17.9ポイント高くなっています。

【年代別】

年代別で比較すると、「ボランティアなどで大会を支えたい」は年代が下がるほど高く、20～30歳代では64.1%と60歳以上の42.2%より21.9ポイント高くなっています。

グラフ2 東京オリンピック・パラリンピック開催について思うこと

性別、年代別 (有効回答=496)



「その他」の回答〔主なもの〕

- ・ 開催を機にインフラ整備など推進していただきたい
- ・ 開催後の施設の有効的な活用方法を充分考慮して欲しい
- ・ 開催を機に日本や日本人をアピールしたい
- ・ 子どもたちが参加する機会を作ってやりたい
- ・ 世界各国からの人々と人的交流が出来るチャンス
- ・ あまり関心がない
- ・ 東京オリンピックに反対

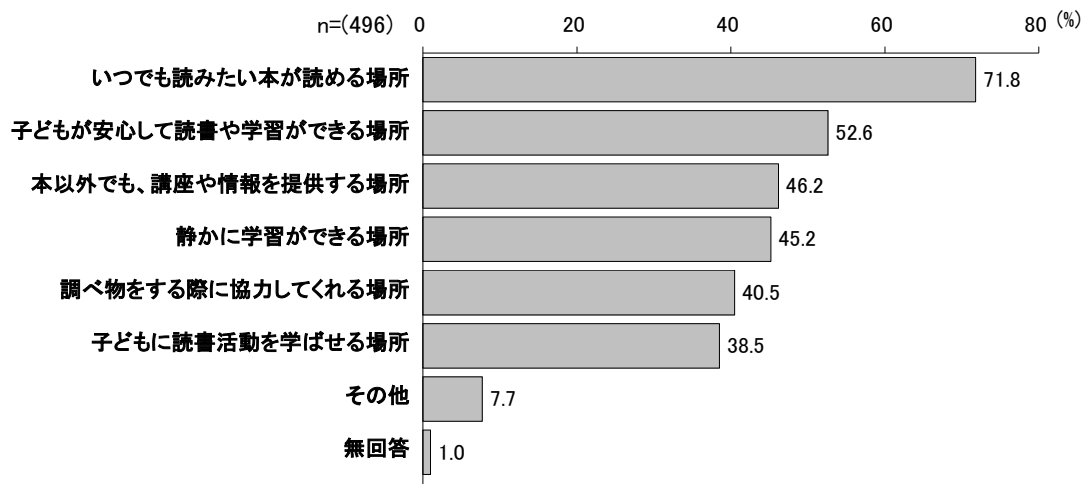
(10) 区立図書館に求める役割

【問10】あなたが区立図書館に求める役割は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 いつでも読みたい本が読める場所
- 2 静かに学習ができる場所
- 3 本以外でも、講座や情報を提供してくれる場所
- 4 調べ物をする際に協力してくれる場所
- 5 子どもが安心して読書や学習ができる場所
- 6 子どもに読書活動を学ばせる場所
- 7 その他

区立図書館に求める役割について聞いたところ、「いつでも読みたい本が読める場所」が71.8%で最も高く、以下、「子どもが安心して読書や学習ができる場所」が52.6%、「本以外でも、講座や情報を提供する場所」が46.2%、「静かに学習ができる場所」が45.2%などと続いています。

グラフ1 区立図書館に求める役割 (有効回答=496)



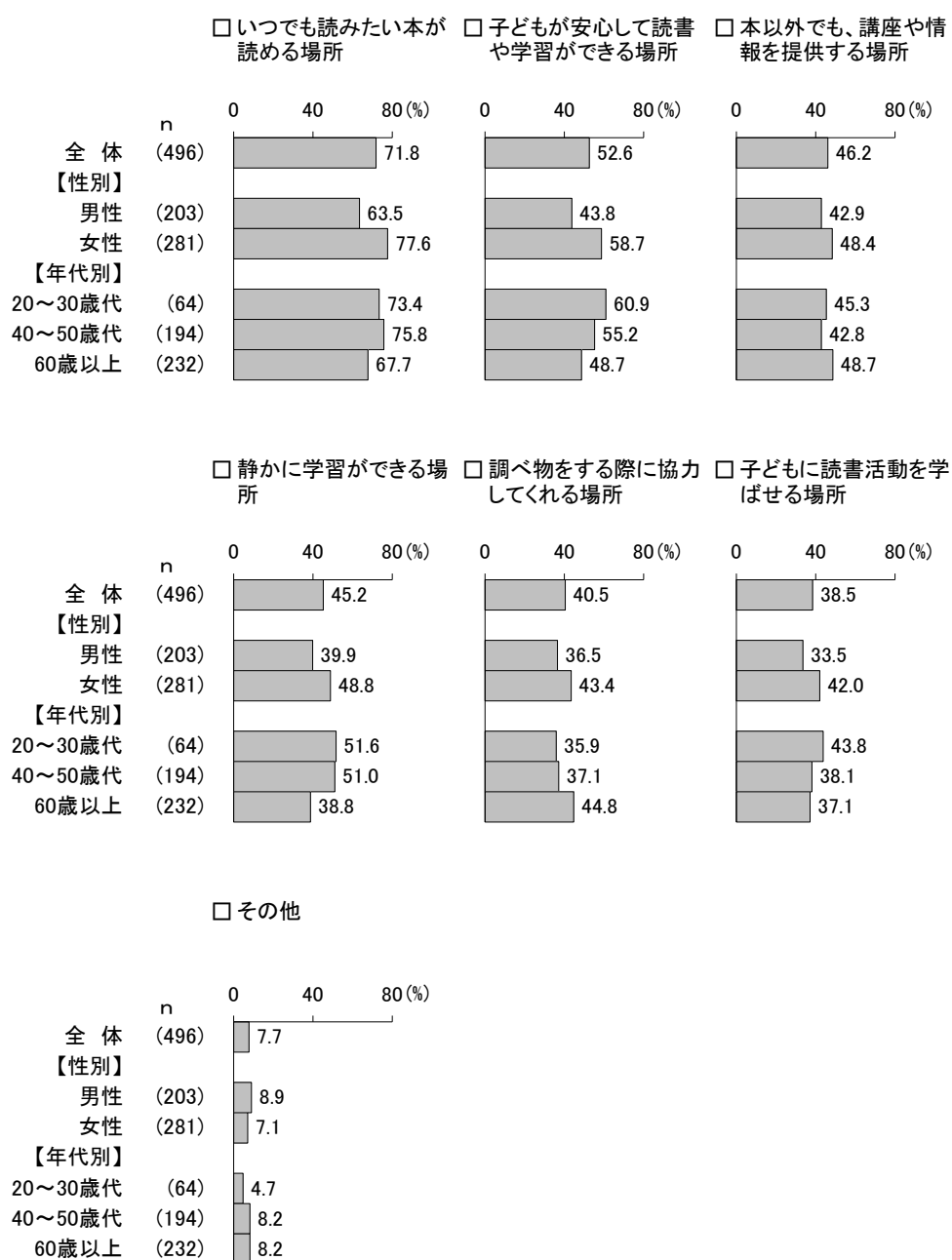
【性別】

性別で比較すると、全ての項目で女性が高くなっており、特に「子どもが安心して読書や学習ができる場所」は男性で43.8%、女性で58.7%と14.9ポイント、「いつでも読みたい本が読める場所」は男性で63.5%、女性で77.6%と14.1ポイント女性が高くなっています。

【年代別】

年代別で比較すると、「子どもが安心して読書や学習ができる場所」、「静かに学習ができる場所」、「子どもに読書活動を学ばせる場所」は年代が下がるほど高くなっており、特に「静かに学習ができる場所」は20～30歳代で51.6%と60歳以上の38.8%より12.8ポイント高くなっています。一方、「調べ物をする際に協力してくれる場所」は年代が上がるほど高くなっており、60歳以上では44.8%と20～30歳代の35.9%より8.9ポイント高くなっています。

グラフ2 区立図書館に求める役割 性別、年代別 (有効回答=496)



「その他」の回答〔主なもの〕

- ・持ち込みPCを使える環境
- ・貸出返却窓口を支所等にも設け、もっと身近で気軽に利用できる仕組み
- ・一日中いられるように食事ができる場所やレストランのようなものが欲しい
- ・人気の新刊は館内のみ閲覧可として置いてほしい
- ・視聴覚の充実
- ・なじみの少ないために自費購入をためらう著者や分野の作品がいくつもある
- ・インターネットPCを置いて欲しい

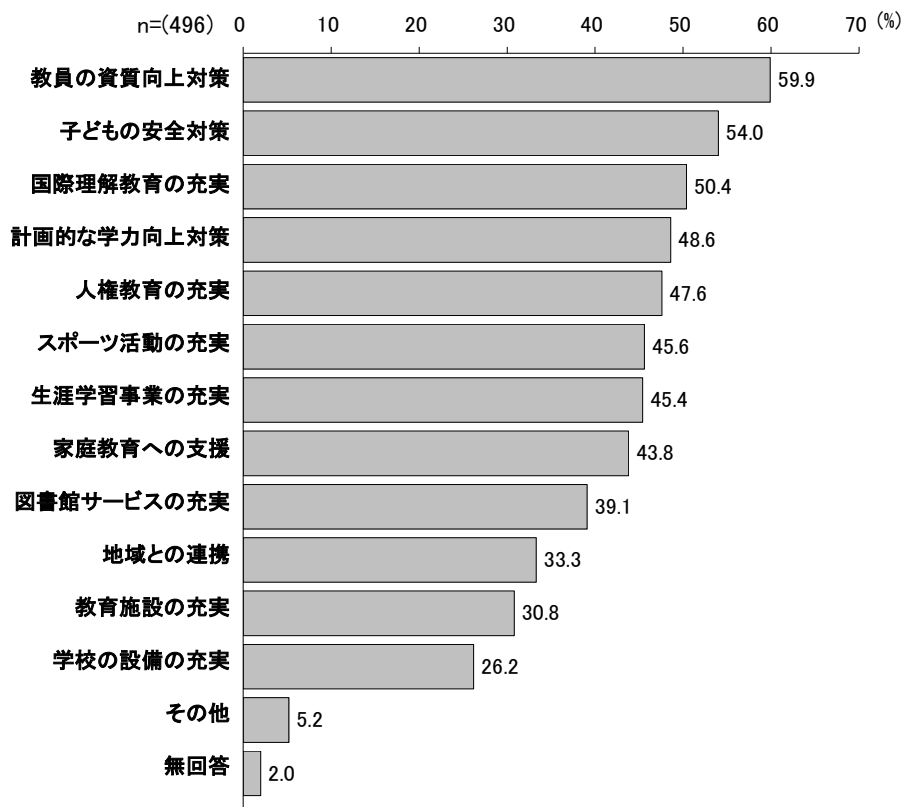
(11) 今後、港区の教育行政に期待すること

【問11】 今後、港区の教育行政に期待することは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 人権教育の充実
- 2 計画的な学力向上対策
- 3 子どもの安全対策
- 4 教員の資質向上対策
- 5 学校の設備の充実
- 6 教育施設の充実
- 7 家庭教育への支援
- 8 国際理解教育の充実
- 9 生涯学習事業の充実
- 10 スポーツ活動の充実
- 11 図書館サービスの充実
- 12 地域との連携
- 13 その他

今後、港区の教育行政に期待することについて聞いたところ、「教員の資質向上対策」が59.9%で最も高く、以下、「子どもの安全対策」が54.0%、「国際理解教育の充実」が50.4%、「計画的な学力向上対策」が48.6%などと続いています。

グラフ1 今後、港区の教育行政に期待すること (有効回答=496)



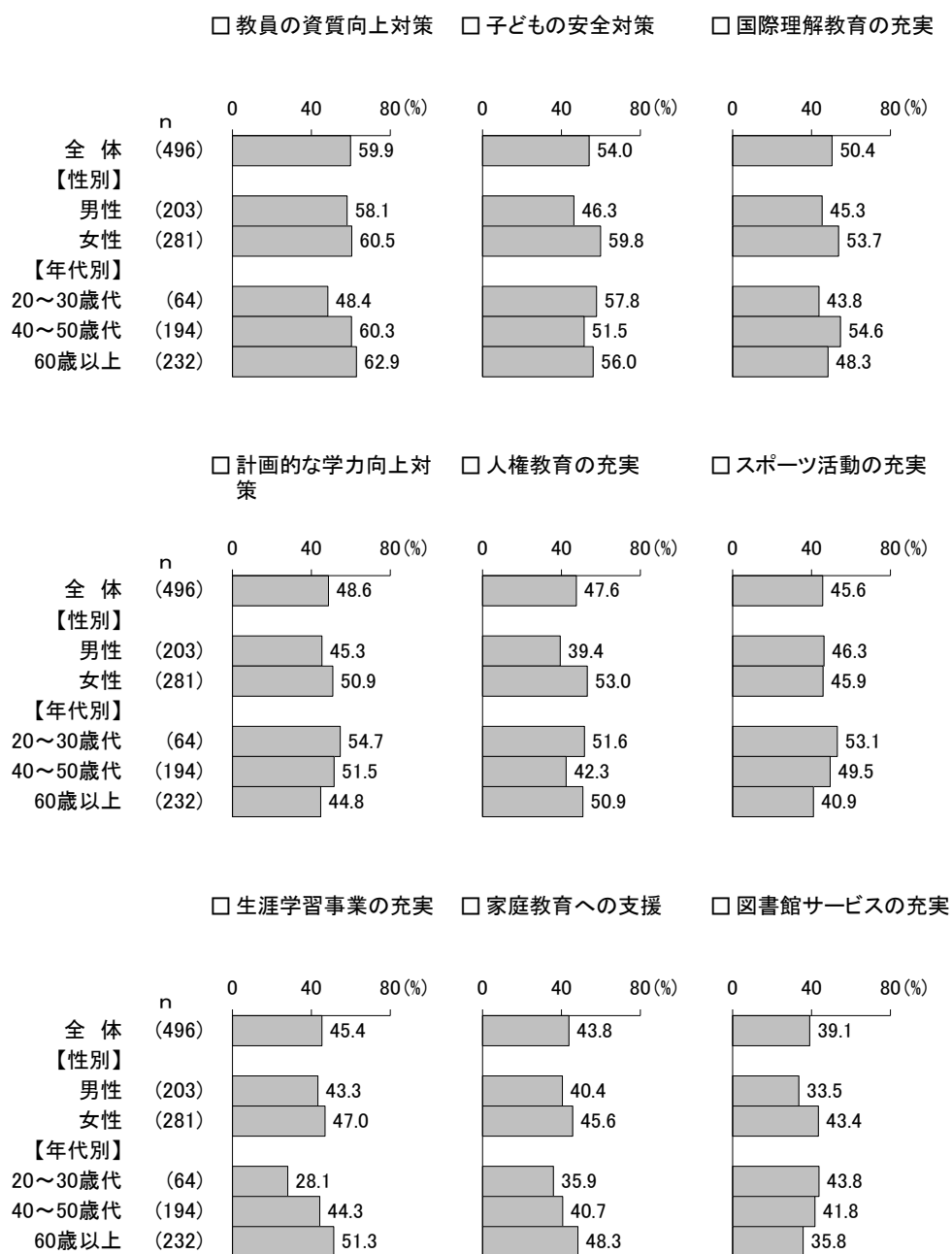
【性別】

性別で比較すると、「スポーツ活動の充実」は男性で46.3%、女性で45.9%と男性の方が0.4ポイント高くなっていますが、それ以外は女性の方が高くなっています。特に「人権教育の充実」は女性が53.0%で、男性の39.4%より13.6ポイント高くなっています。

【年代別】

年代別で比較すると、「生涯学習事業の充実」、「家庭教育への支援」は年代が上がるほど高くなっており、特に「生涯学習事業の充実」は60歳以上で51.3%と20～30歳代の28.1%より23.2ポイント高くなっています。一方、「計画的な学力向上対策」、「スポーツ活動の充実」、「図書館サービスの充実」は年代が下がるほど高くなっており、特に「スポーツ活動の充実」では20～30歳代で53.1%と60歳以上の40.9%より12.2ポイント高くなっています。

グラフ2 今後、港区の教育行政に期待すること 性別、年代別 (上位8項目)
(有効回答=496)



「その他」の回答〔主なもの〕

- ・子どもの学力向上対策
- ・体験型学習プログラムの充実。特に一次産業への体験と理解を深める
- ・共働き世帯への学童教育支援
- ・社会に出た時にうつ病にならない精神を育てる
- ・健康な体作りを推進したい
- ・教員の人間性の充実・教員技術の向上
- ・真心のこもった、私心を棄てた教育

(12) 港区の教育行政に関する自由なご意見等をお書きください

問12 港区の教育行政に関する自由なご意見等をお書きください。

【教育全般について】

28件

- ・子ども達に喜ばれる教育を目指していただきたい。区の体育祭などがあれば良いと思う。アピールも必要である。
- ・二十年ほど前、私の勤務先で保育園児の訪問を受けた事がある。双方にとって悪くない体験だったと思う（どうせならしっかり工場内を案内しても良かった）。国際社会に対応する教育として、山手線高輪駅を含む国際戦略総合特区がどんな街になったらいいか、そろそろ小学生の皆さんに教室で語り合って青写真を描いて貰ったらどうだろうか。港区は特別。最先端。そこで活躍する未来の自分たちを想像したら、きっと毎日の学習の励みになる事だろう。
- ・美術教育と歴史教育に力を入れて欲しい。美術教育に関しては、技術や知識を教えるのではなく、美術品・工芸品の周辺で起こっていること、来歴や取扱いの仕方などを学んでほしい。ものが長い期間、多くの人々に愛され大切にされることで、価値を高めていくこと、ある美術品・芸術品が現在の価値を獲得するのに多くの人の手を経てきたことを知ってもらいたい。そのために歴史を知ることは大切なことである。子ども達には、身近な家族や地域の歴史を調べたりして知る事から始めることが良いのではないだろうか。ひいては、人権教育の推進につながると考える。美術と歴史を学ぶことで人間関係について子どもなりに考えること（気付くこと）があると思う。そうして思いやり(想像力、共感力)のある子ども(大人)になってほしい。
- ・子ども達を取り巻く環境が日々変化し、パソコン、スマートフォンなど難しい問題がたくさんある。親も共働き家庭が多くなり、目が届きにくくなる。子どもを心身共に安全で安心して育てるにはどうしたらよいか考えさせられる。港区はとても良い区なので、是非、教育をもって、子ども達が将来、自立して生活できる様、力を尽くして欲しい。
- ・私の子ども達は港区の小・中学校の教育を受けて育っているが、現在40才代で立派に社会で活躍している。これからも港区の教育が良かったことを示しているのではなかろうか。港区も大いに自信を持って頑張ってもらいたい。
- ・港区内で青少年の事故や事件が起こらない様に強い精神力と責任感を持つ様に教育して欲しい。教職員や教育委員会が意欲を表して欲しい。一丸となって若い人達を育てることに期待していきたい。
- ・民主主義に基づく市民としての独立した価値観を持てる様な多様な指導が必要である。
- ・素晴らしい”計画”である。何とも盛りだくさんでキツくないのだろうか。消化不良にならぬよう、予算消化に追われぬようにと祈るばかりである。私の子どもは私立一本で、公立教育を受けていなかった為、(他区ではあったが)地域とのつながりも全く持てず、港区に移ってから公教育の現状に触れる機会がなく、的確な判断に欠けるかもしれない

が。ともかく現場の大人も子どもも委縮することのない運用を望む。特に小学生のうちは時間的にも余裕をもって読み・書き・算盤の徹底で午前を過ごすといったような大胆な教育の方が確実に1人ひとりの自信につなげられるような気がする。立派な器ばかり作るより、地域環境を良くすることで、地域の中で育てる、育むものが多くあるように思う。上から与えられるよりも、相応の自信が身に付けば郷土愛や自他への人権意識というものは自然に醸成されていくものではないだろうか。特別なことばかり打ち上げていくより、“あたり前”を地道にやっていく事の方が、“いつでも誰でも”の関わりに道を拓くと思える。細やかさは大事だが、細々とならぬよう願う。

- ・学力を身に付ける事は、自分に力をつける事である。自分に力がない時は、人を助ける事は出来ないが、自分に力がついたら社会的立場の弱い人に手をさしのべ助けようとする気持を持つ様な教育を希望する。自分だけの為の教育は、逆に考えものである。政治的な事では、権力を持っている立場の人は「権力は自分の為に使うものではなく、多くの人々を助ける時に使うものである」事を認識して欲しい。
- ・「港区の教育について」港区でなくても良いのでは。1つ枠にはめて事足りると自己満足にならぬよう、1人ひとりが仕事に汗かくことが肝要ではないだろうか。
- ・アンケートをさせて頂くと自分の知らなかったことを知る事ができたり、区で行っている教育目標がわかることができ良かった。子ども教育も大切だが、子どもが見習うことのできる大人教育も大切なことと実感している。
- ・小学校学区変更後、白金小学校の父兄の質が低下しているようだ。子どもだけでなく、親兄弟姉妹への教育も充実させて欲しい。
- ・港区が真剣に、学校教育、生涯教育に取り組んで頂きとても嬉しく思う。学校と地域との交流が余り感じられない。子どもの数も少なくなり、1人ひとり大切に见守って行けると良いと思う。
- ・子ども達の健全な発育の為、スポーツ・郷土愛他等の精神的成長の行政としての大いなる応援をぜひお願いしたい。我らシニアで出来ることあれば協力は惜しまない。
- ・とても立派な教育目標、教育方針を掲げられ日々推進していることに敬意を表する。子どもたちを身近に見る機会を得て感じることは、学校と家庭の間または塾やスポーツクラブを右往左往する子どもたちの、アイデンティティが形成されているのだろうかという疑問である。せめて家庭と学校が同心円で高まっていくような活動を期待する。
- ・個性ある子どもをのばして欲しいと思う。全員が全て同じではなく、才能のある子、ある物に特別な興味があり、スキルをのばせば、相当上級者までいける子など、子どもの持つ隠れた能力を是非のばして欲しいと思う。教師と親の協力の元で。
- ・学校教育機関に全てを任せるのではなくて、親と地域の大人が健全に子どもを育てる事が理想である。子どもを主とした残念な事件が続いているが、他人は係わらないという反対の風潮に世間が傾くのは、子ども達にとっても不幸だと思う。大人の我々も良い社会にすべくもっと模索すべきだと感じている。
- ・性教育という狭い枠組みでなく、年長者やエイズキャリア、医療関係者など、様々な人の

話や施設を見学するなど、単にいつもの先生の話でなく、対話型、体験型のプログラムである事がよいのではないだろうか。

- ・子ども達が誇れる区であり国であり人であって欲しい。世界の中の人として、自覚を持ち、良い意味の自尊の覚悟をもてる教育を願う。
- ・私の息子も、幼稚園・小学校・中学校を港区で教育を受けてきた。教育はとても充実していたので感謝している。現在は、さらに充実していると思うので、何か役にたつことが出来れば、協力したいと思っている。
- ・学力の充実と道德教育の徹底をお願いしたい。私立中学・高校に行かなくても、主要国立大学や有名私立大学に受かる学力を都立高校とも協力して培って欲しい。いたずらに国際化に走ることなくまず日本人として、日本語の読み書きの習得を第一にして頂きたい。
- ・我が国の長い歴史の中でつちかわれてきた伝統・文化を、子どもたちに伝えていかなければ日本は衰退する。
- ・住みやすい、そしてできるだけ安い教育。かつ、マニュアル化よりもイレギュラーに対応できる人材。
- ・日本の歴史・文化をきちんと学ばせることが、これからの人達に負の遺産を残さない為にも。日本がアメリカと戦争した事を知らない大学生がいると聞き、日本は後進国に落ちたと思った。子どもの心情的教育には機を見るに敏でなくてはならない。親・先生・まわりのすべての大人たちが未来の子どもたちの幸せを守る義務があると思う。
- ・仕事柄、地区の母親（PTA）の話を聞くが、PTAと教員のモラルの問題だというのが多く感じた。教育目標も大事だが家庭と学校の共育もありかと思っている。人権問題もあり大変だと思う。
- ・港区は教育に関しては進んだ区だと思う。教育における「平等」ということは絵に描いた餅であり、競争なき社会は進歩がない。
- ・教育の基本は他人に頼らず、他人を傷つけずの自立独立の人材を育成する事である。子ども達を一律に文化系大学に向けて送り出す小中高教育をやめて、中学卒の時に進路を決めるヨーロッパ式の教育を取り入れるべきだ。
- ・私は教育はその人の一生を生きるための大事な一つだと思う。学校で教えて頂いたことは、とても大事で自分の進む道を教えてくれる一つだと思う。港区で過ごした時は50年近くになり、子ども2人も港区で生活している。何でもとっても行政がきちんとしている、他にいい事が沢山あり友達にも自慢している。勉強をして少しでも社会に貢献して頂きたいと思う。

- ・なるべく、お金をかけず、時間をかけて相手を思いやれる人を育てる、という意味でのゆとり教育を期待する。
- ・「港区教育ビジョン」策定にあたっては、素案段階での区民への情報提供と意見募集等、地域住民の意見が当該ビジョンに反映されるようお願いしたい。そうすることで、当該ビジョンが区民1人ひとりのものになる事を期待したい。
- ・港区の教育行政の取り組みについてこのアンケートを実施するまでは、全く知らなかった。特に公立の幼・小・中学校等に通っていない場合、全く知らずに成人してしまうこともあるように思い惜しいと思う。港区に生まれ、育つ事を誇りに思い、郷土意識が幼い頃から芽生えるように、特に私立に子どもを通わせている家庭には、最低でも年に1回ぐらい、教育委員会としての方針や理想論ではない真の教育推進プランなどを提供して欲しい。地域の宝として健全な子どもが育つように、教育委員会の中にも根っからの港区育ちの人材を望む。
- ・政治、行政から独立した教育の確立、及びこれに耐え得る真の教育者の育成確保。
- ・総花的になることを危ぶむ。
- ・「金持ちの金持ちによる金持ち為の政治」を自民党が70年も続けた結果、憲法の法の下での平等も教育を平等に受ける権利も完全に消されてしまった。区長に少しでも人の心が残っているのなら、金持ちだけが得をする、金持ちはより金持ちに貧乏人はより貧乏人になり続けていくこの腐りきった政治を全て断ち切り、全てを世襲せず、全ての子どもが全く同じレベルの教育を受けられる様にしなければならない。金にもものを言わせた者が勝つ港区にだけは決してしてはいけない。自分も金持ちなので自分に不利になる政治はできないと言うなら今すぐ辞めるべきだ。
- ・色々な事業があるようだが、優先順位をつける必要はないだろうか。
- ・教育目標に書いた主旨に共感する。基本的人権に関しては他県の相談機関より充実していると思っている。
- ・活動の拠点を設ける。たとえば専門の教師がいるとか、青山中学は運動場が広いので陸上競技とか。区内の生徒を集めるため区の方針として週1、2回曜日を決めて、午後授業なしにして集まれる態勢をとる。理由は各学校毎だと成立しない部活は意欲がなくなる。充実推進とか思うこと、願うことは千差万別、不本意かもしれないが、小さくても確実に成果を上げていくのが、行政だと思う。バラマキはすべてが中途半端である。
- ・立派な教育目標、基本方針である。充実した教育実現の為には、各クラスの生徒数を少なくし、教育者を増やす事が大切だと思う。民間経験のある方々の協力方法を考え、活用。課外活動として日本文化の経験、体験を取り入れる茶道、花道、武道等々。
- ・添付された資料にある教育目標がしっかりと遂行されれば問題はないと思う。教育委員会は、この目標が絵に描いた餅にならぬ様、しっかりと教育行政を進めて行って欲しい。
- ・英語教育やIT教育など東京の中心にあつて、都会で育つということがメリットとなる独創的な教育を確立することを望む。そうでなければ、子どもは私立に行かせようと思う。

さすが港区の子どもだと誇れる教育方針を望む。

- ・高齢者が多くなって子どもが少ない状況が、今後続いていくので、是非、教育行政を拡充して安心して次代を担ってほしいと思う。
- ・「右」も「左」も無い、公平な教育方針がとられることを願う。
- ・生徒・家族へのアンケートを実施し公表する。
- ・港区の更なる教育行政の充実に期待している。頑張っていたきたい。
- ・教育に関わる人達（教員や教育委員会の方）が忙しすぎる。「子どものため」ならよいが、とりくみが事業のための事業（施策のための施策）になっていないか。教員の資質向上のためには、やることの整理が必要。やるべきことが増えていだけでへっていない。
- ・施策の柱が16本とは、若干総花的では。冒頭にある「教育の港区」の実現のためには、2～3本の柱に絞り込みこれに資源を集中させるべきではないかと思う。
- ・公募による港区民をメンバーに加えた港区図書館協議会の設置。もっとも、簡便な方法としては、例えば、隣区の中央区が実施している「図書館利用者懇談会」（「中央区では皆さんのご意見やご要望を伺い、より身近な図書館として親しんでいただくために利用者懇談会を開催します。」と中央区の「区のお知らせ 中央」で示している。）を港区でも採用し実施する事。区長参加のもと、公募による港区民を交えた区政モニターが毎年数回開催されているが、同様に港区教育委員参加のもと、公募による港区民を交えた港区教育モニター（仮称）を設置するべきであろう。そもそも港区教育委員の名前やその存在感が港区民にとって稀薄に感じられる。
- ・子どもの教育は非常に重要である。色々な施策を実施されることを希望する。また、それと同時に大人の社会教育・決められたことをちゃんと守る教育など出来ないものであろうか。
- ・同封の「港区教育委員会資料」を拝見した。立派な内容と思うが、やや総花的で今あるいは20～30年後の人材教育を目指す教育象のようなものが見えない様に思う。例えば2020年東京オリンピックという大きな環境変化に対応した短期課題や、20年後の東京や世界を背負って立つ次世代育成といった、中期課題への取り組みが見える内容であって欲しいと思った。
- ・事業一覧を読んで、実現してほしい施策が沢山あった。しかし一方で気になることもある。具体的にどのような事をするのか。大人の価値観を子どもにおしつけることにならないか。子どもにいろんなことを詰め込みすぎるのではないか。学力向上のためと子どもが学校に拘束される時間が増えるのではないか。などが思い浮かんだ。「豊かな人間性を育てる教育」として私は、子どもの頃から日本の伝統文化・芸能に親しめる機会をつくって欲しいと思う。たとえば、茶道・華道や着物の着付けの時間を持つ。相撲・歌舞伎などを観に行く。日本舞踊や盆踊りを体験する。などを通して子ども達が日本の伝統に興味を持つきっかけに、そして私達も日本の先人たちが何を大切にしてきたのかを見直すきっかけになればと思う。
- ・画一的な縦わり行政にならない様に、各学校の教育者の自由裁量のはばを広げて個性を出

してもらいたい。

- ・施策の柱を見ると、すべて理想的に書かれているが、これが本当に実行されるように心から願う。地域の間が微力ながらも協力出来れば大きな力となると思う。
- ・区教育行政の第一目的は、将来を担う子の成長であることを明確にする。その観点に立ち、子のために区行政・学校・地域・家庭それぞれができる役割を明確にする。それぞれが自らに（具体的には、区行政・学校・地域・家庭を構成する個人となる）課された役割を果たすに足る資質・能力を高める施策を講じることが重要。その意味では、地域の高齢者人材の能力向上・地域貢献を高めるための施策として推進している“チャレンジ大学”は大変有効かつ有益である。卒業生の活躍が期待できる、区行政も多いに活用して欲しい。
- ・区当局としては、様々な検討・問題意識等があらうと推察するが、都又は国に（教育機関又は図書・博物館等）委ねられたことであらうかと思う。児童・生徒又は、青年教育・生涯教育等の地域的充実を換言すれば、都・国との補完関係の中で区教育当局本来の役割を深化させて頂ければ充分であり、また本務ではないかと思う。
- ・まだ家庭を持っていないので身近な問題として考えていなかったが、同封されていた資料のような取り組みをしっかりと進めて頂けるのであれば、将来港区での子育てを希望するであらうと思った。
- ・事業一覧を拝見した。施策の内容を拝見したが、この内容の一部に、これを作成した側（事務方・官僚）と、これを承認する議会側について、次のような要望がある。①投下した予算とその効果をどのように考えているか。教育なので難しい問題でもあるが、投資予算と効果が釣り合っていないなければならない（予算1に対して効果1以上）。②施策の重点項目が理解できない。極少数者を重点的に施策を講じるのも行政の一部だが、納税者を考えると疑問が残る。③港区は、民間の教育施設・スポーツ施設・教育環境等が充実している。これらについては、民間にまかせ、民間ではできない施策を充実させることが重要だと思う。この他、最近では、区の箱物の建設が多くなってきている。耐震関連の工事の必要性も多くなる。しかし、事務・官僚側の予算作成は、全ての住民・官僚を満足させる予算となってしまう、総歳出予算が総歳入予算以上まで膨らんでしまう。区議会の効果的な審議を望む。
- ・家庭・地域・学校との連携のもとに、青少年生徒に対する学校教育、また成人区民を対象とする生涯学習は非常に大切な基本的なものとして、港区が取り組んでいることが良くわかった。しかしながら、一方ではとても広範で各々が深いところから全ての事業を進めることは、財政・マンパワーの面からもなかなか難しいのではないかと思う。

【学校教育について】

42件

- ・私は私立校で講師をしている。「子どもを指導する」ことへの忙しさは仕方ない。親からのクレーム、勉強の指導以外の仕事が多くて、忙しいので、指導、勉強が行き届かなくなることが多いようである。出来れば教員の人数を多くして、学力指導、部活指導が行き届くようにすると良いのではないだろうか。

- ・芝浦地区に住んでいるが、マンション建設に伴い、新生児クラスの増加が著しいと思う。この世代(現在の0～2歳児)が、小学生、中学生になった時、小学校、中学校は充分足りるか、足りない場合の対策を行っているか具体的な説明(開示)を行う事を望む。
- ・私見だが、学校の先生の業務が忙しすぎると感じる。子どもを見たり、接する時間が充分にあるのだろうか。学級の定員を少なくすべきだ。
- ・毎朝、楽しそうに通学する子ども達の姿を見ると学校教育の充実を感じる。これからも子どもの為の教育を向上して行って欲しい。
- ・学校教育に関して、施策の柱が多岐にわたるので、中心が明確でない。焦点を絞ることが肝要と思う。
- ・区立小中学校の教育のあとの高等学校の教育が良くなると意味がなくなってしまう。千代田区立九段中学のような学校を増やしていくとよいと思う。
- ・区立校でも学力別クラスの導入、小学校での選択校制度導入など、積極的な学力向上策を講じて、優秀な生徒の私立流れを止めて、もっと魅力ある学校作りをして欲しい。
- ・先生方の精神疾患が多いと聞いている。近所の子ども達も塾や習い事に追われいずれも、追い詰められているのではと思う事が良くある。今の子ども達、教育現場での問題、困難は何によるものだろうか。基礎学力をつける事は大切だが、学力テストや受験競争などに振り回されている感はないだろうか。現場の先生方が生き生き、のびのび出来る事が子ども達も生き生きのびのび出来るのではないだろうか。子ども達と直接接する先生方の声を充分聴くことが大切と思う。「教育目標」と「基本方針」あまりに項目の多い事に驚いた。充実しているという事なのだろうか。一般人としては理解の限界を超えている。そもそも、欧米並みに少人数学級でゆっくりじっくり教育するという事にはならないのだろうか。自分の子ども時代に比べ今の子ども達は本当にかわいそうだと思う。とにかく、現場の先生方の声を子ども達の本当の思いを大切にしていきたいと思う。人生80年90年を生きぬく力、生きる力をつけてあげてほしい。
- ・学校・教員職員の評価を行い公表すること。
- ・結果平等ではなく努力した人が勝つというあたり前の競争原理が通用する教育現場であって欲しい。子どもの伸び率を見る事の出来る先生が子どもの成長をうながすのではないだろうか。そして、先生の教育の結果が子ども達の成長結果として現れるのではないだろうか。日本の未来を担う子ども達を育てるという意識と情熱を持って教育に立ち向かって欲しいと思う。
- ・先生方の資質向上をまず望む。子ども達が先生と尊敬出来る教育者、精神力が強い人、貴人感のある人を教育者として望む。
- ・子どもの教育に自分の情熱を注げる先生たちが思い切り働ける環境を備えてほしい。時代おくれの教員組合活動を推進しようとする教員を除外出来る勇気ある政策を期待している。
- ・昨年3月、近くの小学校の卒業式に来賓として、参列した時の事だが、卒業生の名前を担当の先生が書き物を一度も見ることなく、クラスの児童1人ひとりの姿を見てフルネーム

で呼んでいた。当たり前と言えば当たり前かもしれないが、感動して涙が出た。その先生は心から子ども達を愛し、一生懸命教育に取り組んで下さったことと嬉しく思った。後日、その先生にお会いする機会があり、お話をさせていただいた。すばらしい先生であった。教育の大切さを日々思うものである。

- ・学校によって、特色があるのはいいことだと思うが、古い学校と新しい学校で校舎や設備などの差がかなりあり、同じ税金を払って同じ区立に行かせているのにとの声を聞くことがある。先生による当たりはずれも多いようである。
- ・生徒数が減っている中、学校方針、学年方針など統一して頂きたい。また柔軟な若い先生をどんどん増やして欲しい。
- ・ゆとり教育には反対します。宿題も出した方がよい（入学試験など塾に入っていないと塾に頼っている）。言葉使いでは、もっと日本の言葉を大切にしたい。
- ・区立の中高一貫校を検討頂ければと思う。世の中に出る力（社会人として活躍できる、しっかりと自立して生きていける力）が最も大切と思う。社会人基礎力を小・中学教育時から念頭に教育頂けると幸いである。
- ・誰もが自由で平等に学べる学校である為に、それを見守る教員も子どもに対して平等に接するべきであり良い先生に恵まれた子どもはのびのびと育つ。教員のレベルの高い方を港区に配置できるように頑張っていただきたい。
- ・小学中学で勉強した事で大学、高校にどこにでもいけると安心できる。港区はよい学校ばかりなのに区外の子供が多いと思う。
- ・子ども2名共私学の為、公立の教育行政については良くわからない。
- ・歪んだ「お受験」の風潮を是正するため、公立小中学校のレベルアップが望まれる。教育の機会均等とは、その子の能力・個性に対応した教育が受けられる事であり、いたずらな平等主義の名の下に優秀な生徒の成長の芽をつむことではない。公立学校とはいえある程度の英才教育（学業のみならず、スポーツ等も含め）が必要。その為には教育の資質向上が必須であり、民間の有識者（含む退職者）の活用も図られたい。
- ・教員の人数と資質の向上、サラリーマン教員は少ない。そのために、建築・土木の人を教育し教員としてもいいと思う。
- ・いわゆるモンスターペアレントや自分勝手な子どもと対している現場の教員に、現実的・具体的な支援をしてほしい。周りの真面目な子に悪影響を及ぼしている。
- ・過保護な両親と、それに気を使う教師とにより過保護が当たり前の教育になっている。他人に干渉されることのない家庭で育つ子ども達は、それが世の中で当たり前と誤ってしまっている。長期の合宿生活を、生徒の主体性にまかせて行うような機会をもっとつくるべきではないか。施策の柱の中に、主体性を涵養せしめる柱が一つもない。
- ・PTA活動を通して近隣の学校とも縁があったが、どの学校もそれぞれ特色があつて、きめ細かく子どもを見ていると感じる。
- ・公立校の教育内容を充実せねば、今現状の私立受験の傾向がもっと加速する。公立中、公の教育レベルの向上こそが公教育の任命と存ずる。教師の質の向上も必要。

- ・生徒の数が急激に増加している港南地区において、一人ひとりに目が届く教育指導が今後も続いてゆくように、質が落ちたと思われないように対策を講じて欲しいと思う。
- ・どの学校にもそれぞれの良さがあるので良いと思う。学校を自分で選べるのも良い。
- ・小学校低学年より消費生活の原点を学び、実生活に反映できる学習を希望する。お金の大切さと社会性を身につける、バランスのとれた人間育成を重点に配慮して欲しいと思う。
- ・今の子どもたちは、塾に行かないと一流の学校へは行けないと思っているようだが、学校教育だけでも一流校へ行ける教育を望む。
- ・港区では歴史も長い良い公立学校がある。比較的都会では、お金を出してよい学習環境や教育水準の高い私立学校へ進学される方が多いと聞く。地域に根つきお金では買えない公立学校ならではの、歴史や文化・プライドをより一層大切にし、学力や学習の面でも私立に負けない区の教育行政（資質・レベル・内容・特色）を期待している。
- ・いくつかの小中学校では児童・生徒数が減少している。小中連携などで活気ある学校生活ができるように工夫してほしい。
- ・土曜日は何かの形で登校し集団生活に力をそそぎたい。
- ・区立の中高一貫校がもっと増えて欲しいと思う。
- ・新設される三光小学校に期待している。施設だけではなく教員やカリキュラムの充実のため、地域も協力することができたらと思う。
- ・小学校から制服を導入してほしい。大人から見てもきちっと身なりを整え通学している姿は気持ちいい。一部の小学校だけでなく全体で統一してほしい。
- ・埼玉県からこの港区に越してあと一カ月で3年になる。孫のおかげで、港区の小学校・保育園・児童館の様子を知ることが出来た。区がとても良くして下さるのが分かる。子ども達はどこでも同じ、いろいろな体験が出来るよう、特に小学校の授業内容・行事に気配りをお願いする。
- ・私立を受験してみようと思っている。我が家の近所の公立は親の出番が多そうで、仕事をしている私には人間関係が難しそうであるのにプラスして「うちのお母さんだけ」という引け目を子どもが感じそうである。ワーキングウーマンが増えている昨今、行政の方から働きかけて「この学校は親が出る幕がない共働き向けの学校です」という公立を作ってもよいのではないかと思う。きっと越境も増えると思う。
- ・教えて下さる先生が優秀ならば子どももついていくのではないだろうか。私の小学生時代は戦争中だったが、昼のお弁当を持ってこれない子どもに先生はいつも自分のお弁当を分けていた。今でも私はその先生の事を忘れていない。
- ・小学校のクラス崩壊（港区内）の話をよく耳にする。保護者の態度が悪く先生方も大変だが、学校や先生方の対応の悪さも感じられる。学校側で対応が難しいと判断した時に頼れる、民間企業や地域の人や有識者などの外部との連携が必要と思う。学校側で隠しても「ウワサ」は広がり、尾ひれ背びれが付くものだ。大学卒業したばかりの先生（先生1年生）に4年生以上の担任は難しいと思う。先生の人出不足なのに、その先生が不登校になるのではもったいないと思う。先生が人出不足なら、いくつかの授業のみ塾講師にまかせ、先

生方は行事やクラスをまとめる事に専念する。授業の補佐をする等、先生方の負担を軽くし、もっと子どもの言動を注意深く見て欲しい。先生方は子どもと一番長い時間を共有している大人である。子どもにとって「良い大人」の見本であって欲しいと望む。仮に、保護者が「ダメ大人」でも、身近に「良い大人」がいれば、子どもは正しく成長していくと信じている。

- ・区立の小学校で自分も長男も勉強したが、皆で助け合う良い学校だった。
- ・息子二人いるが、私学に学んだため港区公立校の事があまり分からない。孫は是非、港区の学校に通わせたいと考えている。

【家庭教育について】

12件

- ・両親の教育が一番大切と思う。子どもがこの世に生を受けてから、親の影響のもとで育てられる。両親に思考義務的な法則、態度が白紙に墨が少しずつ染まるように静かに心の中に入って行くようである。私の職場にはいろいろな国の親子が来店するが、国を問わず一致しているのは、子ども達が両親の思考をそのまま表現していることである。
- ・家庭内での道徳教育が、活性化していないように思える。あいさつ、礼儀など基本的な事を身に付ける時期として健闘して頂きたい。近所の幼稚園児、小学生などに朝たまたま会っても「おはよう」「行ってきます」のあいさつが出来る子どもが減ってきたように思う。家庭内での躰がちゃんと出来る子どもも確実にいるが、反面教師のご家庭も増えてきていると実感している。
- ・最近、若い人達の転入によって子どもが増えているので、年代の相違による感覚の違いを感じている。区の委託事業所に勤務している友人から、時折、愚痴を聞く事がある。また、ちいばすなどの車内で、子どもをみていない親が多い事に驚く。家庭教育が必要なのだが、この様子ではどうなるかと暗澹となる。いつの時代でも云われることなのかもしれないが、教育という言葉そのものの意味が分からなくなっている。国際的なというのはその後の問題と思う。
- ・不勉強なため、教育行政につき詳しく知らないが、0歳児を持つ家庭の父として、人に迷惑をかけないといった基本的なしつけを中心とした、しっかりとした家庭内での教育を実践していきたい。
- ・子どもの人格形成には、家族が非常に大きな役割をはたしていると思う。子どもは両親の愛情に生まれながら、基本的生活習慣や常識を身につけ、社会の中で必要な基礎的知識を得ていく。愛情はよい家庭をつくる大切な役割をするものであると思う。両親の愛情が十分に子どもに注がれたかどうか、子どもの性格に大きく影響してくる。しかし、今大切な家庭教育が歪められている。子どもの自殺、殺人、両親からの虐待死等多くの問題が起きている。このような荒廃を救うのは、家庭の愛情を取り戻すことであると思う。社会全体が真の子どもの幸福を考え、愛情を基にした対策を考える事が大切だと思う。両親の子どもの親として子育てに責任をもつこと、そのためには今無責任な親に対して子育て教育を母親だけでなく父親にもする必要があると思う。

- ・児童の人権を重んじる事は結構であるが、バランス感覚が重要である。主張が行きすぎると体制を崩す事になり、統率を乱す傾向が見られる。家庭内教育・しつけが出来ていない傾向が強く感じられる。
- ・親が自信を持って子育てしてほしい、学校の先生・社会が悪いとの言い訳をせず。人間としての悪いところも良いところも判る人になってほしい。なんでも手を貸しすぎる事が多い、自分の事は自分で責任の取れる人になって欲しい。
- ・とても豊かな環境で、ありがたいないつも感謝している。家庭でも健やかに成長できるよう育成したいし、しなければと思う。
- ・家庭での教育の重要さを父兄に徹底すること。
- ・元都立高校の教員をしていた、こどもが大好きだ。港区のこどもは家庭もある程度のしつけがされている。それほどのトラブルは少ないようです。3才くらいまでにしっかりしつけておく必要を感じる。
- ・家庭におけるしつけを充実させる。若い母親の教育も大切だと思う。
- ・保護者の方々の意識改革が基礎である。人に対して御礼を素直に云える人であってほしいと切に願わずにいられない。

【地域の特性・人材の活用について】

17件

- ・教育の事はよくわからないが、社会人の能力をもっと活用した方が良い。課外授業などでもいいし、見学や講座など、自由に選べるくらいにあると良いと思う。
- ・幼-中、小-大等の年が離れた関係を体験させたい。社会に出て最初に出会うのも苦労するのもこの年齢差の関係だと思う。
- ・地元根付く区民が減少している中で、いかに人との結びつきをもつ教育が出来るかを考慮にいれて欲しいと思う。
- ・港区にある大学の公開講座の情報をもっと流して欲しい。また、大学との連携プログラムを通して、区民がさまざまな分野での最先端の情報を取り入れるようにしてほしい。
- ・大使館など多数ある区だからこそ、その利点を大いに利用できないか。国際化社会に貢献できる理解できる人達になって欲しい。日本の国際化をけん引して欲しい。
- ・お祭りの時はお手伝いさせて頂いております。こども山車の付き添いや、大人お神輿のごみ拾いやその他、役員さんと活動させていただきます。高齢化がすすみ、力仕事をする方々も少なくなり、だんだん、お手伝いも大変になってきました。しかし、アパートのまわりの小さなお子さんのいらっしゃるお家には、お声かけして、参加をお願いしています。青山の土地柄か、やはり、下町の子どものような元気はありませんが、幼少時代の思い出になれば良いと思ひまして、今後も続けていこうと思ひます。母も子どもさんに好かれてるので、お買い物時や、道で会えば、挨拶をしてくれるお子さんが多いです。コミュニケーションが大事だと思います。向き合った相手がお子さんでも、話しを聞く耳を持つこと。理解してあげること。ニッコリ微笑みあえる街になると良いですね。小さな努力を大

人が忘れてはいけないと言う事ではないでしょうか。

- ・学校教育をサポートする形として、地域住民との関わりをもった施策。私は団塊世代だが、あまりサポートすることがない、あるところでボランティアをやっているが校外学習や自主研究の小・中学生と多く話をする機会がある。皆熱心で質問も多い。観察すること、説明することで子どもの苦手な所をアドバイス。港区ならではの在住の日本語を話せる外国人との接点を設けた企画。語学をスタートする前に世界には色々な国があり、生活習慣なども違うことなど知ってもらうイベント作り。
- ・学校間の交流、支援学級、養護学校、つばさ等の教室との交流。役所の見学、港区に多い大使館との交流。港区の歴史・地理・企業・人物等を学習し、更に港区と東京都・関東・日本・世界とのつながりを考え、港区としての責任・長所・短所を考えていく。
- ・私はドイツに数年住んでいたが、授業に父親やその会社の人に教室で仕事を説明する時間があった。子どもは大人の社会に興味がある事を知った。いきいきと聞き、活発に質問していた。港区は大使館も多いので、会社（仕事）だけでなく、色々な国の話を聞かせてもらうことはできないか。
- ・東京でも港区と言う場所柄を知ってもらいたい、東京の中心。港区で生まれ育った人が少なくなり、淋しい事だがいまの子ども達が、港区で育った事が良かったと思えるようになって欲しいと思う。港区には大学もある。先生は誇りをもって子どもに人生をかけてほしい。（先生の人材を育ててほしい）。
- ・都下全区の中でも、港区の抜きん出た国際性は宝である。この自他ともに認める大きなレガシーは、必ず次世代に生かされる。心あるシニア区民は皆ボランティアのバスに乗り込んでくれるだろう。
- ・これからの時代を担う子どもは大切に教育も重要と思う。年輩者として何かお手伝い出来るならしたい。また、その様な誰でもお手伝いできるシステムが出来る・あると良いかと考える。
- ・港区に住む外国人との交流の場を、大人にも子どもにも増やしてほしい。
- ・都内の高齢化が急速に進むと言われている。港区は高齢者支援とくに就業支援等に熱心だが、より一層教育分野、地域の観光ガイドを始め様々な分野での高齢者の活用が必要と感じている。このことにより元気な高齢者の比率を増やし、医療費等の圧縮にも資するものと考えている。スポーツ施設やスポーツ同好会の組織化も一法ではないだろうか。
- ・個人的には、家庭で自然と学んだ生きる力が学べない分、シニアの皆様やボランティア活動の皆様によってサポートできたら良いと思う。
- ・多くの能力のある社会人が多い区なので、中高生に講話のプレゼントをし、社会人となることに夢を与えて頂きたい。
- ・スポーツや勉強をがんばる以前にあいさつをきちんとする、他人を差別しないといった基本的なことがらをしっかりできるような教育を、周囲の大人も見本となって行うようにしてほしい。大使館等も多い区なので、他の国の人々と交流の場なども、多くもうけたら良いのではないかと。

- ・ あいさつの出来る子どもが減ってきたのは、残念。まずは、基本的な事をできる子どもになってほしいので、学校、家庭でもしつけは大事だと思う。いつも見守ってほしいと思いますが、あいさつすらできない子どものために、こちらから手を差し伸べるのはおかしいので、まずは道徳心を学んでほしいと思う。
- ・ 私には子どもがいないので、学校教育についてはよく分からないが、社会性、道徳性というものが最近の社会全体を通して欠けているのではないかと常々思い、よくそのような場面に出くわす。大騒ぎしながら道いっぱい広がって登校する、自転車やスケートボードなどで猛スピードで駆け抜けるなど公共マナーが守れない、言葉遣いを誤っているなど、そういう大人も増えている中では、学力向上も重要かと思うが、まず同じ社会で生きる仲間として必要な事を身に付けて欲しい。国際性もそういった相手を思いやり、同じ一つの地球の仲間として、扱えられる性質から育まれるものと考え。家庭が一番重要ですが、その家庭が機能不全なので。
- ・ ちいばすを利用していますが、やや乱暴な小中学生がいます。しかし、しだいに社会性を身に付けている感じがします。
- ・ 道徳教育の充実を期待している。
- ・ 公共の場でのマナーや他人への思いやりなど、近年親自身も身に付けていないような道徳観念をしっかりと身に付ける教育を期待します。正式な試験科目として道徳を取り入れるべきと思います。
- ・ 社会、経済状況の変化、教育改革に対応しつつも人は、生命、愛が一番大切であることを教えて頂きたい。
- ・ 目上の人をうやまうなど礼儀（昔の修身のようなもの）を教える。
- ・ 基本的には、教育者の人格・学習努力の充実を計る事により、その個人の人品・人望を高め驕ることなく、へつらう事なく自信を持って優しく接して、又考えて頂く事により一層の明るい展望が開けていくと考える。人格の形成が大切。
- ・ 障害者などにも（弱者にも）、平等な人権があるという、人権教育に力を入れるべきである。なぜかというと、障害者用施設を造る際ほとんどの人が“大反対”している。区は最低の人権教育もしていないように思う。それどころか、人権を守る者が白い目で見られ、村八分にされているのが港区の現状である。
- ・ 高齢者をあまやかすすぎる為、他者がやってくれる事だけの姿勢が目立ち年をとっても自分が世の為人の為に惜しげもなく力を差し出す生き方が大切。もっと思いやり、やさしさ、マナー、コミュニケーション等を指導してほしい。
- ・ 人格形成の基礎をつくる幼児教育を大切にしたい。質の高い区立幼稚園を充実させて欲しい。
- ・ 現在は、インターネットが普及して情報にあふれる社会なので、最低限のパソコン教育の必要性を感じるが、人対人のつながりを構築できる環境づくりが一番大切だと思う。人権教育や安全指導など充実させていただきたい。

- ・子ども時代の心の傷を成人になってからもひきずり、ひきこもりとなった人や対人関係が過度にうまくいかない人を見るにつけ、学校や家庭の対応の大切さを感じます。1人ひとりの子どもがその置かれた場でささやかでも幸せと感じるような、心の教育であってほしいと思います。
- ・今後ますます国際化、インターネット化していく世の中に対応できる子ども達を育てると同時に人間としての感情・情熱を育てる。
- ・教育は金もうけする為には有るのではない。人己の生涯を後悔なく生きる為に、人として有るべき姿は何かを、人生生命の頂点と言うなら、それにふさわしい行動と寛容な心、人を思いあらゆる他の生命を尊び、人の生きるべき方向と道を求めて実践する事が人間の生きる一つの方法ではないかと思う。考えは人それぞれその考え方が、他のものに迷惑を掛けない事が最低限の行動基準であると思う。
- ・ぜひ教育の場で人間形成を。
- ・集団行動や公共の場でのマナーなど、今は大人の方がみっともないのが沢山いるが、そういう親に育てられた子どもが同じ様な人間にならないよう、道徳教育を充実すべきだと思う。
- ・道徳及び愛国についての時間を増やす。
- ・喫煙について、路上や公共の場ではやめて欲しい。マナーの悪い人が多過ぎる。小さい子どもを持つ母親もマナーが悪い人が多い。30～60代の考え方が自分中心な人が子どもの教育にも伝わっているので、国際的なマナーについて考えるチャンスを作ってほしい。
- ・学校教育に道徳を入れるべきだと思う。学校の授業にボランティアの時間を入れて、常にボランティアに親しめておくことが大切だと思う。
- ・教育の一番大切な事は、「基本的な人間のあり方」を考えること、即ち『基礎的な人間教育』だと思います。読み・書き・そろばんは当然の事、音楽教育、体育教育、外国語教育、絵画・造形などの芸術教育、家庭科（料理・裁縫などの他に特に整理・整頓の大切さ）、科学教育、社会学教育、等々…すべて非常に大切な教育分野ですが、その基盤となるのは真面目に物事に取り組み、正直で率直で他人の事を慮ることが出来る優しい心を持つ人間性です。正しい人間性がなければ、どんなに優れた学業成績も人類にとって役立つことはないでしょう。子どもたちの間にいじめが蔓延しているというのは、その『基礎的な人間教育』が疎かにされている為ではないかと感じます。区としては教育行政をバックに学校教育と家庭教育の連携を強化し、現場の先生方と父兄・生徒の間で「基本的な人間のあり方」という基礎的な人間教育を目指してもらいたい。

- ・ いじめ、不登校の問題はいまだに大きな課題、心が痛みます。根本的に家庭教育又は、学校教育（含、教育委員会の有り方）に問題有りと考えます。特に道德教育は成長期過程の中にある子どもにとって必須事項、最近目にする子ども達のマナーは道德心に欠け、勉強重視のあまり、善悪の判断もできず、人様にたいするマナーは全然出来ていません。思いやりの気持ち然りです。海外に出た際、また、東京オリンピックに世界各国の人々が訪れるにあたり、今から遅すぎる感ありますが、品格ある礼儀正しいマナーを大人然り、子どもにも身に付ける必要がありと憂える1人です。
- ・ 学校と親が子どもを守るべく、子どもと向き合い、いじめによる自殺をなくす。親が叱ることができないため、（3才までに、悪いことをしたらお尻をつねり、してはいけない事を教える）子どもは、発信しています。アンテナを広げ見つけて下さい。
- ・ いじめ、体罰をなくすきめ細かな指導、子ども達の安全に配慮して厳しい教育の中でも明るさがある指導者を求める。英語、英語という流れだが、日本は先進国なので、誇りを持って国語を第一に考えないといけない。それと数学を重点的に教育すること。
- ・ いじめについては相談機関を設ける、カウンセラーを置く、子にアンケートをとる等で本当に解決できる、芽をつめる、明らかになると思っているのか問いたい。カウンセラーの先生の所に行けるようならまだ大丈夫。アンケートに記述する子も大丈夫。それが出来ない子がいるのも事実。先生はいじめを知らなかったと良く聞くが、教壇から又は休み時間等教室をみていればわかる事も有るはず。お聞きしたいが、アンケート、カウンセラーからいじめを発見したらどう対処しているのか、相手にそれをなんとなく確認、指導で認めるとするか。謝れば収まるか。絶対に違う。小学低学年なら済むかもしれないが、発見後に学校、区がどう対処するつもりなのか、是非知りたい。アンケートをとった話を聞く度に本気で統計的に「0」なら我が校はいじめなしと思っているのだろうか。教師も自分のクラスから出なければいいと思っているから目をつむってはいやしないか。陰湿ないじめは教師・親の目を盗んでいるので端からみるととても優秀な子だったりする。そうした子を何人も知っている。
- ・ 一番気になる事は”いじめ”である。これには親の責任もあると思う。教師側と親側の密な連携プレーを望む。
- ・ いじめ対策を徹底して欲しい。私もいじめを受けていた経験上、受けている本人はなかなか告白・言い出せないものである。周りが理解する努力を。教育委員会も余り意味を成さないように見える。
- ・ 娘は中学で大変苦勞したようですが、親には言ってくれず困りました。もう少し親が簡単にかかわれるカウンセリング制度が充実していると良いです。担任と相談しにくい場合もあるので、海外のように親子が別に相談できる、校外の先生がいると助かったかもしれません。現在は高校生活を楽しんでいます。
- ・ 品川区では2012年に2人の児童・生徒が自殺をしました。港区ではこの様な事が起きないようにお願いします。

- ・20年程前、私の子どもは学級崩壊のクラスでリーダー的だったため、担任に不当に怒られ・自尊心を傷つけられ不登校になりました。数年は知識がなく引きこもりでした。ある時期心療内科に行き病気だった事を知りました。現在小さい子どもに対する機会があり本当に落ち着きなく、全くいう事を聞かない子などいます。教師にも心療の病気について学んで頂きデリケートな対応を望みます。
- ・いじめがない教育の場を、港区の学校では提供して頂きたい。

【生涯学習について】

10件

- ・個人へのプールのレーンの時間貸し、楽器の練習用スタジオ設置をお願いしたい。プールの個人へのレーン貸しは、不定期に個人レッスンを受ける時に絶対必要なのです。自宅に完全防音室を作るのは難しく、楽器の練習に苦労しています。住環境が良いということは、そういう公的施設があったりすることではないでしょうか。
- ・学校の休日に音楽室や美術室などを開放してくれたらよいと思います。
- ・生涯教育は学校教育と分離して、福祉行政と合策したらどうか。
- ・生涯学習の場が身近にあると良い。気軽に東京の歴史の勉強等してみたい。
- ・生涯教育の充実を望む。
- ・文化活動では、落語、文学、音楽、種々な講座とありがたく楽しませてもらっています。
- ・6年程前、渋谷区より港区に越して参りました。渋谷区では文化の香りの区づくりという事で、元大学教授など有名な学者の方々に古典の生涯学習での教授が盛んに行われていました。殆ど無料（区民は）でした。20年以上続く講座もあり、主婦達の知的好奇心の受け皿になっていました。勉強したくても、今さら大学に行く程でもなく、高い授業料も払えない年金生活者達は、日本の古典を勉強したい人が沢山いらっしゃると思います。
- ・図書館を勉強部屋から講演やサークル活動の拠点とし、単発の講演から一定期間継続する講座を開設して頂きたく存じます。
- ・区民の高齢化に合った生涯学習の場を充実して欲しい。
- ・生涯学習については区が努力されていることと、受け手である区民に意識がマッチングしているのかどうか私にはよくわからない。住民の要望を区の施策に反映させる仕組みと実施策の成果を検証する仕組みはできているのだろうか。

【スポーツ活動について】

7件

- ・学力向上や学校公開は前向きで、結果も出ていると思いますが、体力テストの結果を見ると、少し心配になります。都心なので、広いスペースや自然の中で遊びながら体力をつけていく事も出来ないのが難題ですが、2020年のオリンピックを盛り上げていくためにも、スポーツ・体力の向上を望みます。月に1度、土曜の授業を体育だけにしてみたり、区内のスポーツ施設で授業を行うなど。
- ・区民の運動の機会を増やす事で、医療費の減少にもつながりますし、また、運動と勉強効果や心の健康との関係も、脳科学の分野で証明されているといえますので、都心に暮らす子ども達をもっと運動させることはとても大切なことだと思います。小さな子を持つ家族としましては、家族で気軽に参加できるイベントを開催して頂けると、休日の楽しみにもなるし、よいと思います。
- ・区立幼稚園児の運動能力が低いと聞きました。身体の基礎をつくる時期なので、設備の充実をお願いします。
- ・子どもたちから高齢者まで含めた区民全体のスポーツ活動を支援していただきたいと思います。
- ・港区出身の有名なスポーツ選手（アスリート）を私は知らない。子ども達のスポーツ教育には、子どもが幼児の頃から自由に走り回り遊べる環境が必要で、残念ながら、港区には山も森もない状況である。
- ・今の子ども達は外で活発に動き回ることが少ない様に見えます。インターネットなど1人で遊ぶことも多くなっていると思うのでもっと課外活動を充実し、体力作りを推進する事が大事ではないでしょうか。
- ・中高年で利用できるスポーツのイベントが、平日の昼間に集中しているので夜間でもできたら良いと思います。

【環境や施設の整備について】

34件

- ・室内プールの増設を希望します。災害時の水資源にも、水泳教育の基礎ともなると思います。高輪台小学校か白金小学校への設置をお願い致します。高輪3、4丁目からは、図書館がとても遠く使用しづらいと感じます。環状4号線の整備時に、図書館分室などの教育施設の整備をお願い致します。
- ・青山近辺には、子どもが自由に遊べるいい場所がない。私の孫が住んでいる文京区茗荷谷には、小学校の裏に教育の森公園があり、そこでは子ども達が大勢で遊んでいる。そんな場所が子どもには必要ではないのだろうか。
- ・麻布の図書館が早く完成すると教育の機会が増え嬉しい。
- ・同僚から「港区はいいね。」と言われます。できるうちに人材、施設充実をお願いします。
- ・子どもがいないため、学校教育の現状がわからないため、私自身の感じ方が違っているかもしれません。ただ、子ども達には、健康で夢のある生活を送って欲しいと思います。今

の子ども達は、私達の年代が育てた環境とは大きく異なっておりますので、少なくとも自然環境も含めた生活環境の整備と保持が必要であり、重要事項かと感じます。

- ・若い芽を咲かせる事の出来る様にいろいろなコースを作って才能を見つけて下さい。
- ・街で子どもを見かけなくなった。外で自由に遊べる環境がもっと必要だと考える。生涯学習と学校教育を分けて実施するのではなく、一体的に運営できないか。地域の活動に子どもを参加させる。親と地域をつなぐ役割も持たせられると思う。学校だけが教育の場ではないので、外に開かれた学校教育に期待したい。
- ・身近に子どもがいないと、学校行事や学校の設備等、全く触れる機会がありません。親や先生以外の大人に接する場として、また防犯上の利点もあると思うので、地域住民との交流があっても良いと思います。18歳未満の子どもとその親のみ利用できる設備も、時間や曜日を調整して他の方も一緒に参加できるイベント等、企画できないものでしょうか。
- ・すでに施設等は前から充実していると思われる。使用する側、管理者側双方よりのレベルアップを望む。
- ・体力・スポーツについて。これを聞く度に悲しくなる。言ってることとやってることが逆だから。もっと公園等、遊具、ドッグラン、噴水等はいいから。小さい子などは広場があれば遊んでいられるから。問題は中・小（高学年）学生。思い切り体動かして楽しい小学校生活を送らせてあげたい。
- ・特別支援学校へ通う子ども達の居場所（放課後、長期休み、休日に気軽に通える場所、施設）をもっと増やしていただきたい。
- ・他の区と比較しても、資金的な余裕があるのか、設備の施設が充実していると感じます。今後は、資質向上の為の中身の充実をさらに進めて頂きたいと思います。
- ・図書館サービスの内、購入して欲しい本のリクエスト方法を身近に、手軽にできるようにして欲しい。
- ・赤羽小学校の建て替え工事の一日でも早い着工。高輪一丁目くすのき公園のトイレがない。三田地域の公園が少ない、中高生プラザも遠い。三田2～3丁目の子もたちが遊ぶところがない。
- ・学校図書館の蔵書のかたよりが気になっている。色々な考え方のあるものを購入する時は、それを反対の本と賛成の本を両方そろえるべきだと思う。子ども達が偏った思想にならないようにして欲しい。
- ・貸本屋ではありません、古い本が多すぎます、専門書を増やしてほしい。
- ・幸い区内の学校の図書はどちらも充実した図書の蔵書です。1日の学習の中で「読書」をする時間をつくって頂いたらいかがでしょうか。本は創造性、表現力、知性や感性を育ててくれるはずですから。
- ・学童の部屋が非常に狭く（人口密度が高い）驚きました。是非とも人間的な環境にして頂けるよう切にお願い申し上げます。
- ・図書館のブックスタート事業は、子育てと本との出会い（親も長年絵本から離れているので）という意味で素晴らしい。是非継続して頂きたい。小中学生は音楽ホールでの音楽演

奏会鑑賞、美術館、古典芸能など特に低学年・中学年のうちに参加させたり、植物を育てたり・山登り・工作なども土曜・放課後にも取り入れて欲しい。特にこういう活動にボランティアの方の力を利用して頂きたい。劇・音楽会なども完成度も大切ですが学生に運営管理を任せたりさせて欲しい。

- ・私個人でよく利用する図書館（中高生プラザ内、高輪分室）は、とても綺麗で蔵書も多く、職員の方も親切で気持ちが良いです。
- ・公園や砂浜等、自然が感じられる場所をもっと増やして欲しいです。子どもが生まれてとくにそう感じています。施設の充実も重要かと思いますが、自然を身近に感じることでより地元への愛着がわくと思いますし、心身へも良い影響があると思います。保育所の増設や育児支援等で様々な恩恵を受けているので本当に港区に住んで良かったと思っているのですが、自然だけは少し物足りなさを感じます。街の景観や自然を増やすことで、海外の主要都市のような魅力的な都市になって欲しい。
- ・図書館をよく利用しますが、小さい子どもを連れて遠くまで行くのが大変です。せめて返却は近くに返却ボックスがあればと思います。児童館に返却ボックスを置くというのはいかがでしょうか。小学校にも返却ボックスがあると助かります。もっと図書館を利用する人も増えるのではないのでしょうか。
- ・映画を鑑賞できる場を子ども達だけでなく皆にもっと提供して欲しい。すばらしい映画は沢山あります。
- ・青山生涯学習館の新刊本はなぜか古典（夏目漱石・森鷗外・太宰治…）の文庫本が並ぶ。すでに同じ本は存在する、利用者はベストセラーの購入数を増やしてもらう方を望むと思う。
- ・現在、港区スポーツセンター、図書館、いきいきプラザの教室をよく利用している。今後も益々の充実を願う。
- ・港区内にある大学（とりわけ私立大学）の図書館を港区区民に開放する。開放とは、紹介状を提出することなく、港区立図書館の利用カード及び身分証明書の提示で同大学図書館所蔵書籍の閲覧及び複写を可能にすること。図書の貸し出しまでは先ずは求めない。隣区の千代田区では同区内にある私立大学図書館を千代田区民に開放している。千代田区立図書館と千代田区内の大学図書館が連携しこの開放が実現しているが、港区では一部の大学しか港区民に開放されていないというのは、もどかしいし、区民の非力を感じる。
- ・電子書籍の貸出とCD→mp3音源等、デジタル化を促進して頂きたく存じます。
- ・公園は多いが野球やボール投げ打ちに制限がある、思い切り遊べる庭が欲しい。土日は子ども達が活発に運動できる状況が望ましい。
- ・子どもの数が急に増えているので、様々な施設の充実がまだ整っていない所が多いと思います。なるべく早い計画と実施をお願いしたい。特に保育園など。
- ・幼保一体の子ども園のような区立保育園をもっと各地に増やしてほしい。区内の小学校はどこでも選べるようにしてほしい。赤坂地区に中学受験塾を誘致してほしい。千代田区や渋谷区まで出ている人が多くみんな苦労している。優秀な遺伝子を持つお子さんが港区に

は多いのに、保育園でただ遊ばせているだけではもったいない。早くから優秀な人材を育てる教育的な保育をしていただけたら。

- ・港区内の小・中学校で、生徒の人数が偏りすぎており、そのことで問題が生じ、多すぎても少なすぎても（生徒の人数）良くないと感じる。最近、近所の中学校の生徒人数が増えつつあるが、グラウンドを小学校と共有しているため、思うように使用できなかつたり、プールが屋上にあるため通年で利用できないため、水泳部も設立できず、とにかく部活が充実していない。教員たちも、増えつつある生徒の人数に対応しきれていない。
- ・次世代を担う子ども達の教育環境を充実させることが、最も重要だと考えています。また学習という面だけではなく、情操教育などある面では学習以上に大事な部分をさらに進めていって欲しいと思っています。
- ・教育は、0才時から始まるものだと思います。保育園の充実を検討願います。
- ・公園・梅の木などで幼児（3才～4才）に木登りさせていたら「もし、木を折るようなことがあったら器物損害になります」と注意されました。庭付き一軒家が少なくなった今、その様な遊びを狭める注意はどうかと思う。それなら遊具の充実に予算をあててほしい。

【国際教育について】

21件

- ・港区には大使館も多いので、その特性を活かして、英語以外の言葉の学習の場を提供して頂きたい。港区が各大使館に働きかけて実現可能なのでは。2020年のオリンピックもありますので。
- ・港区は2020年の東京オリンピックの窓口及び各国から来た人達の宿泊の中心になるかと思う。区で簡単な英会話講座を開くのも良いかと思う。
- ・国際理解と英会話力の向上も期待します。偏見のない目を養い、世界での標準語である英語を1つのツールとして使いこなせる子ども達の育成を期待し、望みます。
- ・国際化に対応するため、とにかく英語教育の充実を期待します。区内には外国人も数多く居住し2020年東京オリンピックの会場が区内に在ることが英語への関心を高める上で港区が持つ、他地域には無い強みだと思います。
- ・港区は場所的に大使館等が多くあり、外国人も多いので、国際教育等に英語、仏語、中国語等の語学の充実を図って欲しい。（コミュニケーションがとれるための会話）
- ・港区は世界各国の人々が活動しているところです。世界的視野に立ち、充実した思いやりのある教育行政を望みます。
- ・国際的であることは30数年前より進んでいるが、他の国又は県等からの人々により、おびやかされていることがある為、身内から気を引きしめられることを望む。
- ・国際社会に向けて、ネイティブ先生をおけばいいと近年叫ばれていますが、授業をみると遊んでいるだけのようである。勿論、慣れ親しむにはそれで充分。外国人に抵抗なくなる点は良いかもしれない。でも本当に英語教育という点では遊びの中でも最低限の会話等一步step upした授業は必須。能力的にはthis is a penの頃とあまり変わらないのでは。

- ・港区という土地柄、外国人の子どもも公立小学校に通学していますから、国際交流が自然に出来るのが港区に住んでて恵まれてる点ですね
- ・現在、麻布地区基本計画策定委員を務めている。その会で、「国際教育委員」制度の創設について提言している。これは社会教育委員の国際バージョンともいうべきもので、港区の教育行政のうち、国際教育および国際文化交流に関する業務を所轄する制度である。港区はわが国の中でも国際都市の一番手に来ることは疑いの余地なく、区民及び定住外国人向けに国際教育の充実を専門的に図る必要があると感じます。
- ・日本の未来をになう子ども達へ、国の発展に欠かせぬ子ども達の諸々教育は超重大。特に国際社会に対応する為の教育は大至急の課題だろう。まず世界共通語の英語は、生まれた直後からの必須事項だと思う。つまり日常会話は当たり前の日本人になるべきである、特に港区在住人間は。
- ・国際と名をつければ良いではありません。世界で国際という言葉にしがみついているのは日本人だけです。外国におりました時に、日本人学校にいた息子がその国の小学校とサッカーの試合をしたら、日本人学校の先生方は国際協力をしたと鼻高々でした。あまりかまえる必要はありません。
- ・区の特徴を生かした子ども達の国際交流の場を作って欲しい。
- ・国際的な人間を育てるのもよいとは思いますが、まずはまともな日本語をしゃべれるように育ててほしい。
- ・今回特記事項はありませんが、オリンピック・パラリンピックに備えて国際的に通じる人材育成のスタート、これを望みます。丁度今から小学生・中学生がスタートする良い時期ではないでしょうか。
- ・地元開催である2020年東京オリンピックに、英語ボランティアで参加することを目指しています。港区では在住外国人も多いので、区主催の国際交流や英語教室をどんどん実施してほしいと思っています。
- ・国際的に活躍できる人材の育成。ネイティブ教師による英語教育、これが鍵。
- ・現在公立小学校で実施されているネイティブスピーカーを活用した英語教育の現場を、教育委員会関係者は一回でも視察したことがありますか。あるとしたら、この事業が少しでも有意義だと思われましたか。時間の無駄以外の何ものでもありませんので、その分漢字検定の受験促進等、日本語教育を充実させることを強く望みます。
- ・2014年度、港区サントリーホールとの共同プロジェクトがあると伺いました。フランスの名門オーケストラとの連携という事で、素晴らしいことと感激いたしました。東京オリンピックに向かって文武両道、そして国際的な感覚が備わったバランス感覚ある人材を育てて欲しいです。
- ・外国で暮らす娘家族が久しぶりに我が家へ滞在することになり、小学2年生の長女をこちらの学校に通わせたいと思いましたが、対応できる学校はわずか一校のみ。国際化・グローバル化と言いながらまだまだ実体が伴いません。この辺がどんどん開かれていかなければ、日本は世界に置いていかれることを心配します。

- ・“ハナミズキ&あじさい”のような、外国かぶれの日本人ではなく真の国際人として、老いも若きも共に育ち高められるような支援をお願い致します。

【その他】

6件

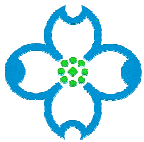

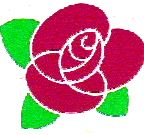

- ・子どもの教育も大切だが、働けるのに働かない人達に働くきっかけを作る教育（技術）を受ける場所も必要だと思う。子どもは、自分の周りにキラキラと輝く人がいれば、その背中を見られると思う。大人も自分を磨く事が出来る機会を増やして欲しい。
- ・安全、安心が第一の重要な点と考えます。港区には特に期待します。
- ・2年前に他県から引越してきた。今はまだ子どもがいないが、地元との教育施設などの違いが大きく、心配な事も沢山ある。今、自身でも色々調べているが、そういう情報が日常生活の中でもっと身近に入ってくるととても助かる。
- ・選択肢が全て網羅的で全てに○をつける以外に選択はない。この中での順位をつけるか、2～3の重要課題を選ばせるかにしないとアンケートの意味がない。
- ・教育行政の詳細を知る方法を教えてほしい。
- ・禁煙教育の充実を願う。港区中学生に配られた「たばこがいないこれだけの理由」という冊子は大変良い。具体的な数値をあげ恐ろしさを伝えている。東京オリンピックに港区の路上や公園からタバコの煙をなくしたい。

刊行物発行番号 25239-5861

平成25年度
区政モニターアンケート調査報告書

平成26年（2014年） 3月発行

発行 港区企画経営部区長室
東京都港区芝公園1-5-25
電話（03）3578-2111（代表）

区の木	区の花	
 <p>ハナミズキ</p> <p>■ミズキ科 北米原産 外来種 落葉広葉樹</p>	 <p>アジサイ</p> <p>■ユキノシタ科 日本（関東南部）原産 落葉広葉樹 1.5 ~ 2.0m</p>	 <p>バラ</p> <p>■バラ科 日本、中国、欧州原産 常緑落葉低木つる</p>
 <p>港区のマークは、昭和24年7月30日に制定されました。旧芝・麻布・赤坂の三区を一丸とし、その象徴として港区の頭文字である『み』を力強く、図案化したものです。</p>		



港区は、みどりの保全とごみの減量に努めています。
この報告書は、古紙を活用した再生紙を使用しています。